

平成26年度

外部評価委員会報告書

久留米工業高等専門学校

ま え が き

久留米工業高等専門学校長 上 田 孝

久留米工業高等専門学校では、教育・研究の改善に資するため、平成4年度に自己点検・評価協力者会議を設置し、自己点検を行うとともに学外の有識者による外部評価を開始しました。その後、平成14年度に外部評価協力者会議、平成18年度からは名称を外部評価委員会と改め、節目ごとに地元の教育・研究機関、行政機関、企業等の有識者により、本校の教育・研究活動の現状及び改善への取組について、検証・評価を行って頂いております。

また、外部評価委員会では、従来からエンジニアリング・デザイン等の工学教育におけるその時どきの課題に対する本校の取組状況についても、テーマとして取り上げてきています。

今回は、教育・研究活動の現状及び改善への取組に加え、近年急速に進展する社会の国際化に対応し、海外で活躍できる技術者を求める声が産業界から高まっていることを踏まえ、グローバル人材の育成という観点から、本校の英語教育や国際交流活動についても御意見、御助言をいただきました。

さらに、外部評価委員から頂いた御意見を、本学の運営改善に着実に活かせるよう、今回から、前回の外部評価委員会における指摘事項への対応状況を説明して、それらについても御意見を伺うことと致しました。

大変ご多忙の中、御来校の上、貴重な御意見を賜りました外部評価委員の皆様には深謝致します。特に、委員長をお務め頂き、本委員会の進行や総括の講評など格別の御指導を賜りました九州大学大学院工学研究院長の山田淳先生に厚く御礼申し上げます。

今後とも、外部評価における御指摘、御意見等を踏まえて、本校の教育・研究の充実を図ってまいりたいと存じますので、関係各位の更なる御指導、御支援の程お願い申し上げます。

目 次

まえがき

1. 外部評価委員会委員名簿	4
2. 外部評価委員会出席者名簿	5
3. 外部評価委員会規程	6
4. 外部評価委員会日程	7
5. 開会挨拶	8
6. 委員紹介	8
7. スケジュール説明及び資料確認	8
8. 議長選出	8
9. 議事	
(1) 前回の指摘事項について	9
(2) 教育の現状と改善について	9
(3) グローバル人材の育成について	11
(4) 講評	13
10. 閉会挨拶	14
11. 外部評価の結果	15
(1) 評価点	16
(2) 意見・提言	17
12. 説明資料	
(1) 前回の指摘事項について（企画主事）	19(1～13)
(2) 教育の現状と改善について（教務主事）	35(1～13)
(3) グローバル人材の育成について（金城准教授）	51(1～11)
(4) グローバル人材の育成について（小田教務主事補）	65(1～17)

久留米工業高等専門学校外部評価委員会委員名簿

平成26年11月 現在
(敬称略)

氏 名	所 属	職 名
山 田 淳	九州大学	大学院工学研究院長
中 島 英 治	九州大学	大学院総合理工学研究院長
永 田 見 生	久留米大学	学 長
尾 崎 龍 夫	久留米工業大学	学 長
橋 本 政 孝	久留米市	副 市 長
権 藤 博 文	久留米市中学校校長会	会長(市立筑邦西中学校長)
齊 藤 哲 夫	大 電(株)	顧 問
山 本 岳	パナソニック(株)AVC ネットワークス社	人事センター人事一グループ九州人事チーム 人材開発ユニットリーダー
平 田 敬一郎	(株)久留米リサーチ・パーク	常務取締役

平成26年度外部評価委員会出席者名簿

(敬称略)

外部評価委員

委員長	山田 淳	九州大学大学院工学研究院長
委員	中島 英治	九州大学大学院総合理工学研究院長
委員	永田 見生	久留米大学長
委員	尾崎 龍夫	久留米工業大学長
委員	権藤 博文	久留米市中学校長会会長 筑邦西中学校長
委員	齊藤 哲夫	大電株式会社 顧問
委員	山本 岳	パナソニック株式会社AVCネットワークス社 人事センター人事グループ 九州人事チーム人材開発ユニットリーダー
委員	平田 敬一郎	株式会社久留米リサーチ・パーク 常務取締役

学校側参加者

校長	上田 孝
教務主事	和泉 直志
専攻科主事	池田 隆
企画主事	江崎 昇二
寮務主事補	中尾 哲也
機械工学科長	原田 豊満
電気電子工学科長	平川 靖之
制御情報工学科長	丸山 延康
生物応用化学科長	富岡 寛治
材料工学科長(代理)	奥山 哲也
一般科目(文科系)学科長	福田 かおる
一般科目(理科系)学科長	宮本 久一
教務主事補(制御情報工学科 准教授)	小田 幹雄
一般科目(文科系) 准教授	金城 幹雄
企画主事補	川嶋 克利
事務部長	辻本 功
総務課長	三原 和宏
学生課長	磯田 信一

久留米工業高等専門学校外部評価委員会規程

(平成16年7月23日制定)

(設置)

第1条 久留米工業高等専門学校(以下「本校」という。)に学外の有識者による外部評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(目的)

第2条 委員会は、校長が付託する事項について検証、評価を行ない、本校の教育・研究の改善に資するため、提言を行なうことを目的とする。

(組織)

第3条 委員会は、本校の振興発展に関心と理解のある学外有識者のうちから、校長が委嘱した委員をもって組織する。

2 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。なお、委員の職にある者が任期中、転退職した場合、後任者が引き継ぐものとする。この場合、委員の任期は前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、校長が委嘱する。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

(報告)

第5条 委員会は、第2条の検証、評価が終了したときは、評価の結果を校長に報告するものとする。

(事務)

第6条 委員会の事務は、総務課総務課長補佐(総務担当)において処理する。

附 則

この規程は、平成16年7月23日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年6月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

平成26年度外部評価委員会日程

日時 平成26年11月21日(金) 13:30～16:00
場所 久留米工業高等専門学校 管理棟2階 大会議室

13:30 開会

13:30 開会の挨拶

13:35 委員の紹介及び進行スケジュールの説明

13:40 議長選出

13:50 議題

(1)「前回の指摘事項について」(企画主事)

(2)「教育の現状と改善について」(教務主事)

(3)「グローバル人材の育成について」(金城准教授)
(小田教務主事補)

15:45 講評

15:55 閉会の挨拶

16:00 閉会

開 会 挨拶

上田校長：今日は、お忙しい中、本校の外部評価委員会にご出席いただきまして、誠に有り難うございます。

また、平素は本校の教育研究に色々ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。今日は、長時間ではございますけれども、年に1回の外部評価委員会ということで、本校の日頃からの教育の改善への取り組み、そして今回は国際化への対応ということで、近年、技術者も国際社会で活躍できるようにということが色々と言われてまいりましたので、本校の国際交流並びに英語教育の取り組みにつきましてご説明させていただき、今後の改善に向けて先生方のご指導ご助言を賜れば大変ありがたいと存じますので何卒宜しくお願い申し上げます。

委 員 紹 介

栗田総務課長より外部評価委員の紹介、並びに学校側出席者の紹介が行われた。



左から
尾崎委員、中島委員、永田委員、山田委員長



左から
権藤委員、齊藤委員、山本委員、平田委員

スケジュール説明及び資料確認

栗田総務課長より本日の外部評価委員会のスケジュールの説明と配布資料の確認が行われた。

議 長 選 出

久留米工業高等専門学校外部評価委員会規程第4条第2項の規定に基づき、外部評価委員会委員長である山田九州大学大学院工学研究院長が議長に選出された。

議 事

(1) 前年度の指摘事項について

山田委員長：それでは、議長を仰せつかりました山田でございます。今日は、長丁場かもしれませんが、どうぞよろしく願いいたします。それでは、早速始めたいと思いますが、まず、最初は議題1から始めていきたいと思えます。「前年度の指摘事項について」ということで、これは江崎企画主事の方からご説明よろしく願いいたします。

(江崎企画主事から、資料「前年度の指摘事項について」(P19～P33)に基づき説明)

【質疑応答】

山田委員長：どうも有り難うございました。「前年度の指摘事項について」ですが、皆様のご指摘、指摘事項に対してどのような取組みをされたかという説明でございます。ご意見、コメントなどございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは、また後でも結構ですので、お気づきのことがございましたら、ご意見をいただけたらと思えます。

(2) 教育の現状と改善について

山田委員長：それでは、次に移りたいと思えます。議題の2番目は、「教育の現状と改善について」ということで、和泉教務主事の方からご説明よろしく願いします。

(和泉教務主事から、資料「教育の現状と改善について」(P35～P49)に基づき説明)

【質疑応答】

山田委員長：どうも有り難うございました。ご質問、コメントなどございませんでしょうか。

齊藤委員：数学の補習指導のところで、補修の効果が、大幅に平均点が向上しているところですが、その中で先生が個別指導されるのは当然あると思えますが、生徒たちが教え合いをするというのは、非常に効果が高いのではないかという印象を持ちましたけれども、生徒同士が教え合うということは、人間関係も非常に良くなるし非常にいいことだなと感じました。

和泉教務主事：教員はTAに手伝ってもらっておりまして、まずTAと入念な打ち合わせを行い、TAになる学生も、かつて自分が教えてこの「学生なら。」という学生にお願いをして、打合せを十分に行っています。それでTAに任せることで、上級生が下級生を教えるといういい循環が出来ているのだと思えます。

山田委員長：他にございませんでしょうか。

一点よろしいでしょうか。新しい審査方式による学位授与の流れのところ、高専が審査を受けると
いうことと、もう一つ、教員も審査を受けるということでしょうか。

和泉教務主事：教員が、卒業研究に相当する科目、学習総まとめ科目、仕上げの科目という名前がついて
おりますが、これを指導する教員につきましては業績が審査されます。大学の卒業研究の指導と同じ
ですから、大学の教員と同程度ということだろうと思います。

山田委員長：学校の審査というのは、結構項目があるのでしょうか。

池田専攻科主事：学校の教育プログラムの科目としての審査が別にある、それと、その科目を指導する教
員資格、和泉教務主事がお話ししたものがあります。

山田委員長：基本的にカリキュラムの中身ということでしょうか。

和泉教務主事：はい、そうです。

山田委員長：その他にございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、どうも有り難うございました。



(3) グローバル人材の育成について

山田委員長：それでは、後半の方を始めたいと思います。議題の3ということですが、「グローバル人材の育成について」ということで、まず一般科目文科系の准教授 金城先生の方から説明よろしくお願ひします。

(金城准教授から、資料「グローバル人材の育成について」(P51～P63)に基づき説明)

山田委員長：どうも有り難うございました。それでは、もう一点、同じ「グローバル人材の育成について」ということで、続きまして教務主事補の小田先生からお願いします。その後で、まとめて意見交換をしたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(小田教務主事補から、資料「グローバル人材の育成について」(P65～P83)に基づき説明)

【質疑応答】

山田委員長：どうも有り難うございました。「グローバル人材の育成について」ということで、お二人の方から説明いただきましたが、何か皆さんの方からご意見やコメントなどございませんでしょうか。

山本委員：TOEICの受験ということ、平均スコアが380点前後ということでご提示いただいておりますが、卒業生、所謂5年生のタイミングでは平均点はどのくらいになるのでしょうか。

小田教務主事補：データはありますが、今、集計したものが手元にございませんで、お調べして回答したいと思ひます。

山本委員：企業といたしましては、日本国内、海外を問わず、グローバルに活躍していただける技術者というものを求めておられて、このようなグローバル人材の育成にむけた取り組みをしていただいていることに感銘を受けました。当社ではTOEICが650点以上というのがグローバルに活躍していただける技術者のスキルとして設定しておりますが、現在、入社してくる理系学生の中で650点に達しているという学生はなかなか多くありません。したがって、新入社員の導入研修の中で2週間のインテンシブ語学研修を行い、また海外工場での製造実習を行なってグローバルオペレーションの実態を見てもらうということで、全新入社員に対してグローバル人材に向けた動機付けを行なっています。実際、この1ヶ月ぐらいの取り組みの中で平均して150点くらい新入社員のTOEICの点数が上がるという形になっております。

貴学におかれましては、グローバル人材育成にむけた集中的な取組というのもしていただいておりますが、対象が一部の方に限られていると思ひます。もう少し幅を広げていただきますと、全体の底上げになるのではないかとと思ひましたのでコメントさせていただきます。

山田委員長：はい、有難うございます。その他にございませんか。

永田委員長：留学の話がありましたので、久留米大学の場合、海外に行った場合には、単位の互換制で協定を結んでいて休学にならないと思うのですが、どこに行っても高専の場合は1年間休学になるのでしょうか。これはどうにかならないのでしょうか。

小田教務主事補：先程紹介いたしました留学は、低学年1年、2年、3年の留学でございます。これは高校への留学になります。単位互換というのは、現在のところございません。それでも、必ずその期間というのは、休学をして行ってもらってになっております。

専攻科の留学というのは、実績は語学学校に行くとかいうものかもしれませんが、そういう、単位を見通した留学というのは無くて、先程紹介しました1週間とか2週間、大学の方で何か活動する、その時に活動の証明書とかを発行してもらえらるかもしれませんが、それが直接単位につながるという訳ではありません。

山田委員長：その他にございませんでしょうか。

権藤委員：グローバル化の人材育成に向けて、非常に各担当の先生で努力をしてあるというのは、色々と紹介していただき有難うございます。私がアメリカの在外研修を受けた時には、TOEICではなくTOEFLだったのですが、TOEFLは非常にレベルが高く、TOEICの方が非常になじみやすいという部分もありますし、もう一つ英語検定を活用されて自己評価だけでなく、客観的評価をされているというのは非常にいいなと感じております。

これからは意見ですが、公立の明善高校とか他の学校と久留米高専とを比べた時に、一つは、英語を学習する目的が公立の高校は明確になっている。大学受験というものがありますので、その為に英語を一生懸命頑張る。そこからいくと、多分、私たちの中学校から明善高校とか他の有名公立高校に送り出した時、そこに入る子供たち以上のレベルの子供たちが久留米高専には入ってきていると思います。久留米高専で英語を鍛えていって行く中で、久留米高専の子供たちにも英語を学習する目標というか、今、久留米高専で重要視されていますグローバル化の人材対応のために、英語は、技術をつけるだけでなく、今から本当に必要になってくるといったところをしっかりと行っていただくことと、英語というのは技能の面でございますので、異文化理解という国際理解教育という部分も非常に重要な部分になっていくのではないかといいふうに思っているところでございます。

あと、スライドの中にございましたが、公立高校では、月曜から金曜まで英語の授業が行われており、それに対して、中学校でも週3時間から週4時間になりました。そういう中で、小学校の5年、6年の外国語活動も必須化されていくという、2020年の東京オリンピックの時には、そういうふうになってくると思います。そういう中で、久留米高専の週2日だけの、というよりも英語を習う時には、带状にでも授業を持って行った方がいいということもございますので、例えば100分授業を50分ずつに分けていくとか、英語の授業に関してのみご検討していただければというふうに思っております。

山田委員長：はい、有難うございました。その他ございませんでしょうか。

ちょっと、小さいことですがよろしいでしょうか。

いろんなところに海外派遣されているようですが、例えば1名とか。これは、希望を取られてこの1名を選ぶというプロセスなのでしょうか。希望者は多いのでしょうか。例えば、JASSOとか。久留米高専での選考についてお伺いしたいのですが、例えば、5名くらい希望者がいた場合に1名を選ぶ時にどういう選考をしていますか。

小田教務主事補：九州地区で10キャンパスあり、大体2名ずつの割り当てがされているのですが、各高専からの応募者が少なければ3名や5名とかで応募します。久留米高専は、優先順位をつけて応募者全員を提出します。あとは、全体の枠内に収まるかどうかということですね。

山田委員長：優先順位は、例えば成績とかでつけているのでしょうか。

和泉教務主事：具体的なところは忘れしたので、記録を調べて回答します。

山田委員長：希望者が多ければ喜ばしいことですが、そののこのところを知りたかったんです。

その他にございませんでしょうか。よろしいですか。

それでは、だいたい時間も近づいてきましたので、そろそろ終わりにしたいと思います。

講 評

山田委員長：本日は、昨年度の指摘事項10項目につきまして詳細に説明していただきました。非常によく理解が出来ましたし、指摘事項に対し、本当に真摯に取り組んでいらっしゃるなど感じました。

それから、県外と県内の就職の人数につきましては、これからも引き続き観測データを取ることが大切なことだと思います。

それから、テクノセンターの取組みにつきまして、非常に詳細に説明いただき有難うございました。

今回、グローバル人材の育成ということで、色々取組みをご紹介いただきまして、これは、私の感想になるかもしれませんが、一つは英語の上達と、もう一つは先程ご指摘がありました異文化の理解、その辺のところではないかと思えます。この辺は、大体、我々大学でも共通しているところで、どう改善に結び付けるかということになると、これはなかなか難しいもので、根気強くやるしかないのではないかと私自身思っており、おそらく同じではないかと思っております。大学は、18歳からなんですけど、高専はもっと若いですから、大学でもできるだけ若い時に海外に行かせた方がよいと、異文化の人と交流させた方がいいと思っております。そういう点からすると、高専はもっと若いですから、もっと柔軟性があると思えます。これは、予算とか色々な問題がありますけれども、先程私がお聞きしたのはこれで、希望者がいれば出来るだけたくさんそのような取組みに答えるという様な、これはなかなか財政面で難しいかと思えますが、ご検討いただければと思います。

もう一点は、グローバル人材というものを考える時に、英語力というのは当然必要です。これは、グローバル化というより、国際関連で重要です。英語を使わないといけない。そういう面では、私も英語はそんなに得意ではないので練習しないとイケないと思うのですが、これは、グローバル人材ということ、あるいは、どれだけその人がグローバル化されたかということ、どう評価するかということについて、恐らく聞かれてくることになるだろうという気がします。来年、再来年ということではないですけども、その辺のところを検討されていくということは、重要ではないかと思えます。実は、私のところのプログラムの関係で、グローバルリーダーを育てるようなプログラムを引き継いでやっているのですが、昨日、こちらの外部評価委員から外部評価を受ける立場で丸一日外部評価を受けました。そこで、同じようなところの指摘がありました。英語力というのは重要だけれども、例えば感性というようなところを育てるかとか、異文化、多様性というのは感性に基づいているところがあるのではないかと、それをどう評価するかということについて、ご検討していただければと思います。

ということで、大変素晴らしい取組みをされていることに感銘いたしました。

それから、最後になって申し訳ございませんけれども、50周年を迎えられまして大変おめでとうございます。次の50周年というと大変壮大かもしれませんが、益々のご発展を祈念致します。

このような役目でも、お役に立てれば幸いに思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

講評と言いますか、個人的な意見もありましたが、以上で終わらせていただきます。どうも有り難うございます。

閉会挨拶

上田校長：本日は、長時間にわたりまして、大変お忙しい中、貴重なご意見を賜りまして誠に有り難うございました。また、委員長をお勤めいただきました山田先生には、外部評価委員会の議事進行並びにご講評を賜りまして、本当に有り難うございました。今回いただきました色々なご意見、ご助言等を勘案いたしまして、教育研究活動の改善に努めてまいりたいと考えておりますので、ぜひ、今後ともよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。本日は、お忙しい中、どうも有り難うございました。

外部評価の結果

1. 評価点

	報告事項	山田委員長	中島委員	永田委員	尾崎委員	権藤委員	齊藤委員	山本委員	平田委員
評価	(1)			5		5			
	(2)	5	5	5	5	5	5	5	5
	(3)			3		4			

【報告事項】

(1) 前年度の指摘事項について

(2) 教育の現状と改善活動について

(3) グローバル人材育成について

評価点	評価基準
5	優れている、または、適切である。
4	やや優れている、または、ほぼ適切といえる。
3	普通。
2	やや劣っている、または、あまり適切といえない。
1	劣っている、または、適切でない。

2. 意見・提言

山田委員長

- ・各委員からの指摘事項を10項目に整理し、自己点検評価の項目に加えてPDCAサイクルを回すことにより、改善を実行されていることは高く評価できる。
- ・卒業生、専攻修了生の進路（就職先）について、県内外も含めて詳細に分析されている点は、今後の高専としての方向性を計画してゆく上で極めて重要なデータであり、今後も継続されたい。
- ・学士学位の授与が実現することは喜ばしい事であるが、大型（共用）機器の活用も含めて、限られた人材と時間の中で、教育・研究に組織的に取り組むことにより研究成果を一層向上させる努力が重要になってくると思われる。継続検討されたい。
- ・海外派遣や留学生の受け入れなど、海外の学生との交流はグローバル人材育成に極めて有効である。予算次第であるが、できるだけ多くの学生派遣、受け入れを実現されるよう、今後とも継続して努力されたい。
- ・英語力評価としてTOEIC等での客観的評価は重要であり、取り組みは評価される。しかし、グローバル人材としての評価については、様々な観点からの評価が必要になると予想される。グローバル化の評価方法について、検討を始めておくことが肝要であると思われる。

中島委員

- ・グローバル人材の育成など、非常に積極的に教育に取り組まれていることに感心いたしました。
- ・これまでの教育を維持すべく、実習設備などの改善、改良をされていること、教育レベルを維持するために必要なことであると思います。
- ・大学、大学院との連携により、貴高専の教育水準のさらなる向上を期待しております。

永田委員

- ・グローバル人材については、まず、久留米高専が考えているグローバル人材とは、どのような人材なのかの定義を定める必要がある。その上で、育成したグローバル人材の卒業後の進路指導についても目標を定めることも重要。
- ・秋田の国際教養大学が育成しているグローバル人材のような理想的なレベルの高い人材を育成するのは困難である。では、高専ではどのようなグローバル人材を育成するのか具体的に示す必要がある。
- ・海外留学は1年間休学を要するとのことだが、4年あるいは5年時に、海外の単位互換性の提携を締結した学校（貴学の学術交流に関する覚書締結校大学）に留学すれば、休学は避けられるのではないかと。

尾崎委員

- ・前年度の指摘事項について真摯に対応されていると感じた。
- ・学士の学位授与審査方式が一步前進したことは、関係各位のご努力の賜と敬意を表する。
- ・グローバル人材育成に向け、多様な取組みをされていると感心しました。今後、達成目標の設定が課題であろう。

権藤委員

- ・生徒の英語力の客観的評価を求めて、英検とTOEICを積極的に取り入れられていることは大変素晴らしいと思います。

- ・グローバル人材の育成においては、外国語(英語)の知識・技能とともに、異文化理解(国際理解)、国際感覚も重要だと考えます。
- ・公立高校に進学した生徒たちは、大学受験のために英語を猛勉強するという目標があります。久高専の生徒たちにも1年生の時からこれからのグローバル社会、国際化の時代で活躍するためにも英語の必要性を自覚し、英語の勉強にがんばるというハッキリとした目標を持たせてもらいたいと思います。
- ・久高専に入学してくる生徒たちは、中学時代はどの生徒も各中学校の学力でのトップ集団なので、英語力をもっと鍛えてもらいたいし、それはできることと考えます。
- ・他の教科の授業時間との調整も必要ですが、100分の週2回の英語の授業ではなく、50分の週4回の英語の授業の実施を是非とも検討してもらいたいです。
- ・英語学習においては、帯状の短い時間でも毎日英語の授業を行うことが特に効果的だと言われています。月曜日から金曜日までの5日間、少なくとも週4日の英語の学習時間を設定してもらいたいです。
- ・英語での「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能のコミュニケーション能力を育てることが重要です。

齊藤委員

- ・各委員からの前年度の指摘事項に対しては、各指摘事項に対し、丁寧に調査、分析、整理されて、そして、日常の活動の中に生かされて実施されており、すばらしい対応であると思います。
- ・教育の現状と改善についてのところで報告、説明があった数学の補修指導をしている指導内容の説明がありましたなかで学生同士で教え合いの方法を取り入れられている点についてはとても良い方法だと感心しました。
- ・グローバル人材育成についてのなかで、英語教育の取り組みを様々な視点から取り組み活動、実施されていることは十分評価できる。英語のレベルをより効果的に上げる為に、現在、100分授業を週2回実施されているが、50分授業にして、週ほぼ毎日英語と接する授業の組み入れ方もあるので、今後検討してもらいたい。

山本委員

- ・前年度の指摘事項について適切な対策が取られていると考えます。
- ・グローバル人材育成については、幅広く行き届いた取り組みをされていることに感銘を受けました。一方で、TOEIC 平均点等を見ると十分なレベルに達しておらず、教育課程外の取り組みも参加者が限定された範囲に留まっています。今後卒業までどのレベルを目指しどのように実現するかを明らかにして、久留米高専の強み特徴の一つにしていただければと存じます。

平田委員

- ・指摘された事については、適切な対応と改善がなされており問題はない。特に、久留米高専独自の自己点検評価の取組は、広範・適切な評価項目の設定と PDCA サイクルの適用により着実な効果が出ており評価できる。
- ・アドミッションポリシーによる久留米高専の使命、教育理念の徹底と検証の実施による教育の質の向上を望む。
- ・グローバル化、国際化による英語能力の向上は、喫緊の課題であるが、良く工夫された英語教育プログラムを実施しており今後、英語能力の向上が期待できる。TOEIC 導入は評価できるが、中長期的にどのレベルまで到達させるか目標設定の検討を望む。

説明資料

前回の指摘事項について

企画主事 江崎昇二

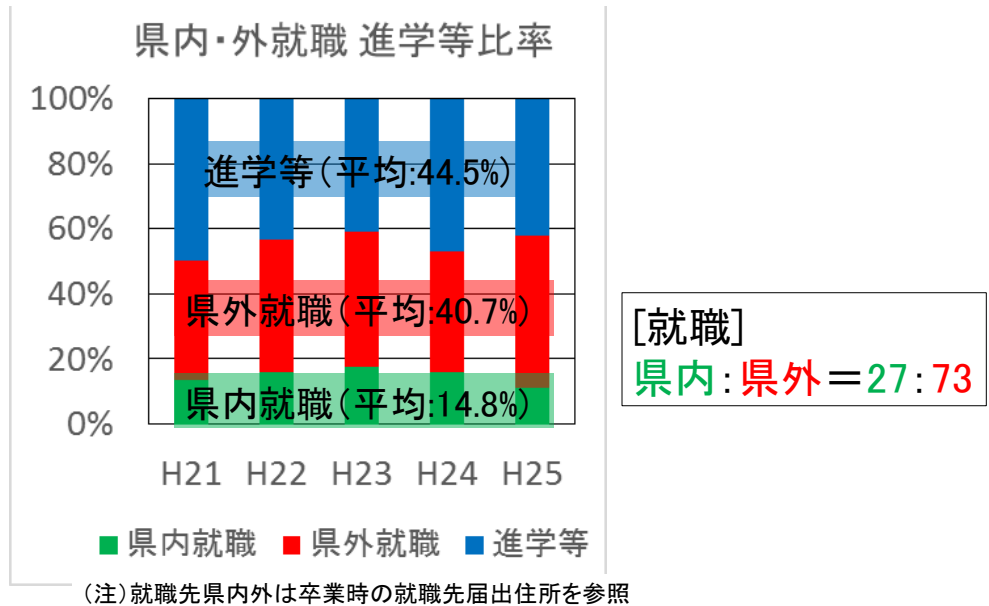


○平成25年度 外部評価委員会 評価結果報告(抜粋)

資料1-1

委員氏名	意見・提言等
山田 淳	① 進路について、県内と県外の割合についての動向を明確化されたい。
	② 産学民連携テクノセンターの一層の強化を期待する。
	③ 大型設備を有効活用するための方策を検討されたい。
橋本政孝	④ また、今日、人権意識の確立やDV防止が社会的課題となっており、そうした分野での教育もよろしく願いたい。
	⑤ 久留米市には、5つの高等教育機関があることから、「大学等のみえるまちづくり」を進めている。学生の皆さんのまちづくりへの参画を、さらに期待したい。
権藤博文	⑥ (中学生)「一日体験入学」での感想欄には「参加して良かった。」という理由を書かせた方がいいと思います。そこから、次のステップへの手掛かりが見つかると思います。
	⑦ 「学生による授業評価アンケート」で記述できるところがあることは良いが、「授業について感じたり思ったりしたことがあれば」という設問よりも、「さらに、この教科の授業をこのように改善していけば興味を持てるわかりやすい授業になるのではというアイデアがあれば書いてください。」という設問等の方がいいのではないのでしょうか？
齊藤哲夫	⑧ 企業訪問、工場見学などの機会をもっと増やすことはできないでしょうか。
山本 岳	⑨ 今回、ご報告いただいた内容の外とはなりますが、アンケート結果における一部不満回答の原因把握、フォローや全校、部門の目標に対する達成度合・課題等より幅広い課題掌握・対策に取り組まれていることを示していただきますと一層すばらしいものになったかと存じます。
平田敬一郎	⑩ 施設・設備の整備については、教育環境、研究環境を考える上で、非常に重要なことなので計画的な整備を行ってください。(予算取りは大変苦労されていると思います。)

①進路：県内と県外の割合



②産学民連携テクノセンターの取組

テクノネット久留米(H24年10月発足)

・目的

久留米高専と地域産業界等との
連携・交流を深め地域産業の発展に寄与する
久留米高専の教育研究の振興を図る

・会員

地域企業(55)、公的研究機関(4)、西日本新聞久留米総局
久留米・鳥栖・筑後・八女商工会議所、久留米・鳥栖市
久留米大学、久留米工業大学 等 [計70]

テクノネット久留米の活動(平成25年度事業)

知的財産フォーラム

○平成25年9月24日(火) 16:00～17:30

○久留米高専 D4教室

○参加者数:64名

○演題

- ・「知財の種を育てよう(実りある事業化に向けて)」
久保山弁理士,原弁理士,瀧上弁理士,竹丸技術士
- ・「パテントコンテストの紹介」
田中友隆(専攻科2年)



テクノネット久留米の活動(平成25年度事業)

講演会

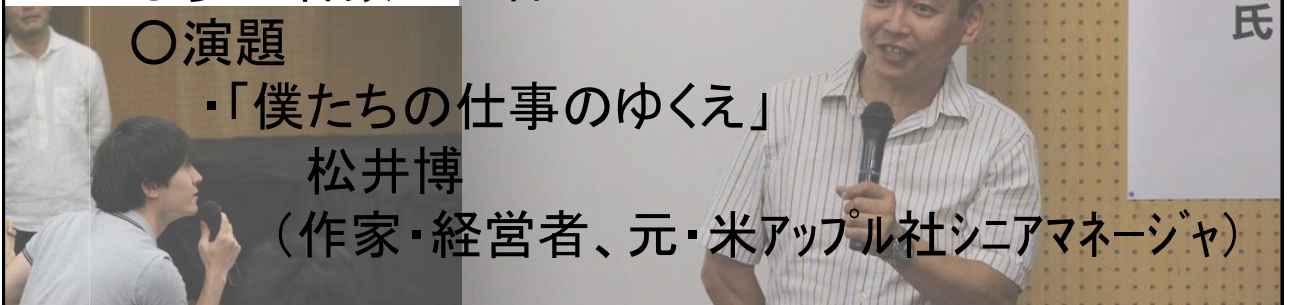
○平成26年6月20日(金)

○久留米高専 D4教室

○参加者数:83名

○演題

- ・「僕たちの仕事のゆくえ」
松井博
(作家・経営者、元・米アップル社シニアマネージャ)



テクノネット久留米の活動(平成25年度事業)

ラボツアー(機械工学科)

○平成26年6月13日(金)13:30~16:30

○久留米高専 機械要素設計実験室等

○参加者数:8名

○施設見学

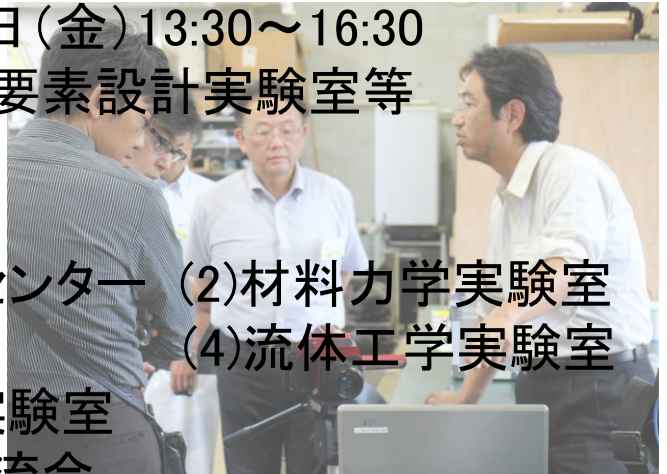
(1)ものづくり教育センター (2)材料力学実験室

(3)熱力学実験室

(4)流体工学実験室

(5)機械要素設計実験室

○意見交換、技術交流会



テクノネット久留米の活動(平成25年度事業)

ラボツアー(生物応用化学科)

○平成26年7月25日(金)15:00~17:05

○久留米高専 生物応用化学棟等

○参加者数:11名

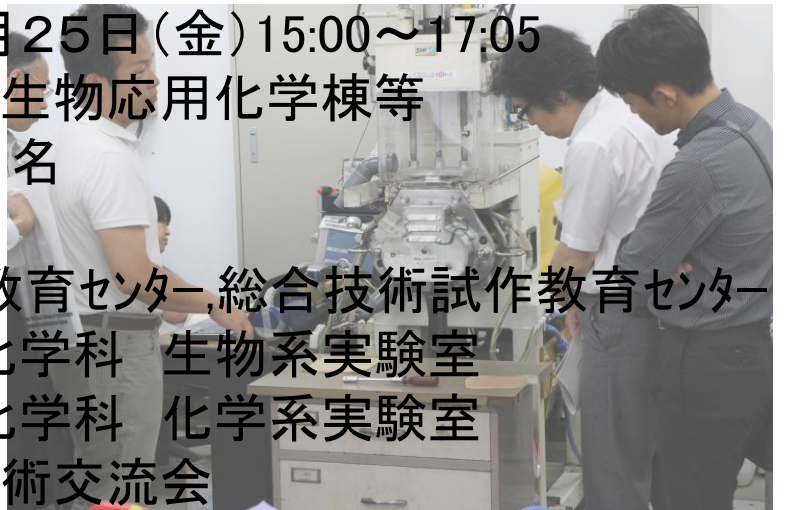
○施設見学

(1)ものづくり教育センター、総合技術試作教育センター

(2)生物応用化学科 生物系実験室

(3)生物応用化学科 化学系実験室

○意見交換、技術交流会



テクノネット久留米の活動(平成25年度事業)

会員と久留米高専の共同研究

NO	研究題目	会員企業	久留米高専研究者	学科名
1	新規導電性包埋剤の開発	久留米大学	松田 貴暁	生化
2	深穴加工用工具の耐摩耗性に関する研究	ユニタック株式会社	大津 健史	機械
3	ビニールハウス向け省エネ除湿機に搭載する熱交換器の開発	(株)久留米リサーチ・パーク 津福工業株式会社	田中 大	機械
4	フルオーダーメイド医療用ソックスの開発	(株)久留米リサーチ・パーク (株)イナバ	中尾 哲也	機械
5	シューズの構造や材料による空気抵抗に及ぼす影響に関する研究	株式会社ムーンスター	中武 靖仁	機械

③設備の有効活用(学内設備の外部利用状況)

講座名等	対象/人数	使用設備・機械
「仕上げ作業実技講習会」	社会人6名	手仕上げ場、ボール盤、バイス、定盤、フライス盤、平面研削盤、大型旋盤、帯鋸盤、コンタマシーン、グラインダー
「JGMAギヤカレッジ」	社会人29名	ホブ盤、マシニングセンタ、歯車測定機、ピッチ測定機
3D-CAD基礎講座	社会人14名	PC
3D-CAD/CAE公開講座	社会人6名	PC
3D-CAD公差設計基礎講座	社会人20名	PC
第2回ゴムの実践技術講座(実習)Bコース	社会人3名	密閉型二軸ゴム混練機、テストプレス機、原子吸光分光光度計、テンシロン万能試験機、THz-TDSシステム
一日体験入学(機械工学科)	中学生・保護者等約600名	3D CAD、3Dプリンタ、燃焼装置、風車
一日体験入学(制御情報工学科)	中学生・保護者等約600名	PC、ロボットキット
一日体験入学(生物応用化学科)	中学生・保護者等約600名	ドラフトチャンバー、プロジェクター
一日体験入学(材料工学科)	中学生・保護者等約600名	直流電源、電熱器、液体窒素、太陽電池、メッキ浴
一日体験入学(一般科目(理科系))	中学生・保護者等約600名	実験台、ガスバーナー、試験管、ビーカー、プロジェクター
「エレクトロニクスサマースクール」	中学生8名	組込みシステム教育用プラットフォーム、電動機-発電機実験装置、衝撃電圧発生装置
「あなたも一日サイエンティスト」	中学生5名	プロジェクター、机、実験台、ホワイトボード
金属を溶かして青銅鏡を作製してみよう	中学生20名	高周波誘導加熱炉、高周波誘導炉、小型フライス盤
化学への招待ー楽しい生物・化学教室ー	小学5,6年、中学1,2年 38名	化学及び生物用の器具等

④ 人権意識の確立やDV防止

全学生への学生相談室、カウンセリング紹介

- ・学生相談室案内資料(年1回)
- ・カウンセリング日程案内資料(年2回)
- ・学生相談室だより(年1回)

全学生への学外相談窓口紹介

- ・ミズリリーフライン(福岡県警察本部)
- ・性暴力被害支援センター
(福岡県犯罪被害者支援センター)

⑤ 「大学等のみえるまちづくり」への参画

創立60周年 久留米青年会議所が企画



キエス記録挑戦などについて語り合う学生たち

「人文字企画」など知恵絞る

まちおこしイベントの企画に当たっている学生たち



学生60人 イベント手作り

キエス記録挑戦などについて語り合う学生たち

品約25%、1冊コミュニケーションエリアでは30日(日)まで、福岡県立久留米大学学生作品展、学生たちがコンテストで制作した作品を展示する。文化観光課095-442-1002(25)0906。

●新刊紀子写真展 3日(日)まで、福岡県天神のアートスペース展覧会。様々な米の中で写真と向き合い、新しい視点で作品を制作された新刊紀子の作品展。092-7911097。

⑤その他近隣との交流

学生団体 hitoKURU

久留米市内5大学(久留米大学/久留米工業大学/久留米高専/聖マリア学院大学/信愛女子短大)の学生によるまちづくり中間支援団体に参加。 第三代 代表理事 森 隆一郎は、本校専攻科生。

久留米市街地及び高専近隣の清掃活動

平成26年7月29日(火)
有志80名程度による小森野コミュニティセンター・小森野団地、久留米市中心街の周辺の草取り、ゴミ拾い、自転車の整理などの清掃活動を実施。



⑤その他近隣との交流

小森野校区夏まつり

平成26年8月23日(土)
吹奏楽部が「レット・イット・ゴー」など4曲を演奏。

小森野小学校陸上競技指導

平成25年1月～約1ヶ月間
陸上競技部員が、小森野小学校で小学生を練習指導。
それまで20位と低迷していたチームの大会成績が、2年連続入賞。



⑥一日体験入学アンケート(参加して良かった理由抜粋)

10. 一日体験入学に関する感想があればお書きください。

- ・全部の学科を体験できた。
- ・学校紹介が楽しかった。
- ・色々な実験をすることができたのでとても良かったです。
- ・教える人がたくさんいてとてもやりやすかった。
- ・高専生との対談では色々な事が聞けてためになった。
- ・学校紹介で在校生の方々のお話が聞けて良かったです。

⑥一日体験入学アンケート(要望事項)

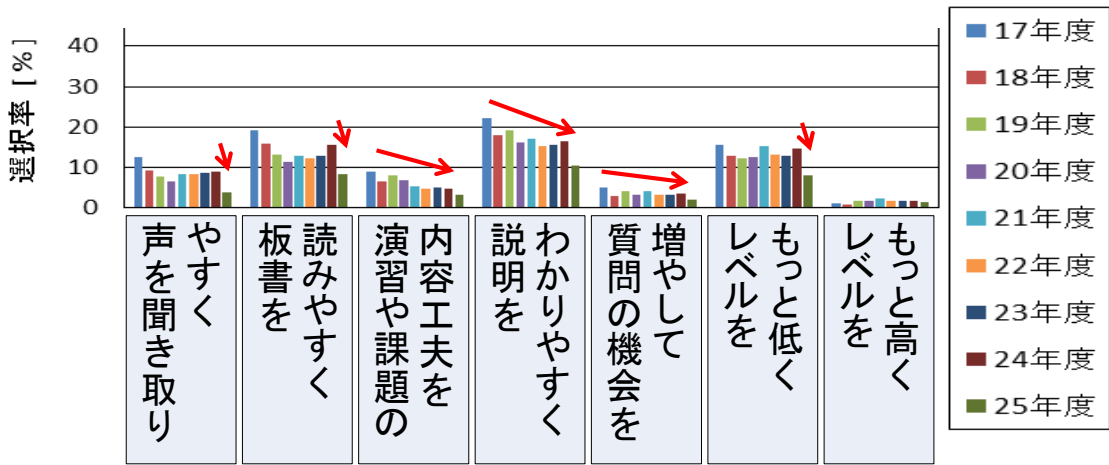
9. 一日体験入学でほかにやって欲しいことがありますか。

48 有

514 無

- ・気になった学科にもう一度行ける。
- ・質問コーナーの時間を増やして欲しい。
- ・全ての部活の見学会にして欲しい。
- ・高専生と話す時間をもっと長くして欲しい。
- ・卒業生の話。
- ・学校を自由に回れる時間。
- ・学生行事の話をする時間を取って欲しい。
- ・施設案内(寮、工場や図書館など)
- ・在校生の授業の見学。

⑦授業評価アンケート(授業に対する要望)



具体的意見は自由記述欄で把握

⑧企業訪問、工場見学実施状況

4年生 国内工場見学旅行(クラス別)

期日:平成26年9月23日(火)~9月27日(土)

機械	日本航空 整備工場、日本精工 藤沢工場、ニコン 横須賀製作所、出光興産 千葉製油所、新日鐵住金 君津製鐵所 等
電気電子	三菱電機 静岡製作所、三菱日立パワーシステムズ、日本航空 羽田工場、東京工業大学大岡山キャンパス 等
制御情報	日産自動車 横浜工場、三菱日立 パワーシステムズ、JAXA筑波宇宙センター、東芝未来科学館 等
生物応用	大日精化工業、味の素 川崎工場、沢井製薬、JNC石油化学、日本科学未来館 等
材料	日本航空 羽田整備工場、JFEエンジニアリング 鶴見製作所、日本精工 藤沢工場、新日鐵住金 君津製鐵所、国立科学博物館 等

⑧ 企業訪問、工場見学実施状況

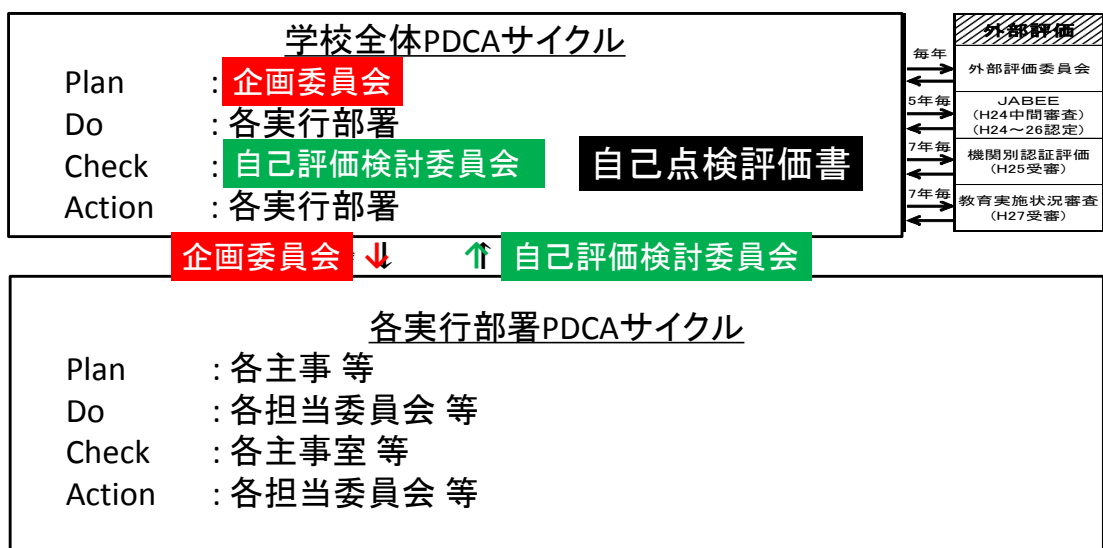
近郊工場見学(クラス別)

平成25年度実施状況

期日	クラス	見学先	
H25.6.11	1M	日本タングステン基山工場、SUMCO伊万里事業所久原工場	基山町・伊万里市
H25.6.20	2S	大和製缶株式会社	三養基郡上峰町
H25.7.3	3S	三井ハイテック	北九州市
H25.7.18	5C	株式会社ムーンスター	久留米市
H25.9.5	2C	(株)旭製作所	熊本県荒尾市
H25.9.5	3A	日之出水道機器(株)佐賀工場、三菱重工業(株)長崎造船所	佐賀県みやき町・長崎市
H25.12.6	3C	九州大学大学院・総合理工学府(筑紫キャンパス)	春日市
H25.12.19	1M	九州工業大学、新日鐵住金(株)	北九州市
H25.11.8	4C	福岡市市民防災センター、製品評価技術基盤機構・九州支所	福岡市
H25.11.21	1C	(株)やまやコミュニケーションズ、福岡地区水道企業団 海水淡水化センター	福岡市
H25.12.6	5A	九州電力 八丁原・大岳発電所、サッポロビール日田工場	大分県玖珠郡・日田市
H25.12.18	4M	東亜工機(株)、(株)香蘭社 碍子工場	佐賀県鹿島市・西松浦郡
H25.12.16	2E	大電株式会社 久留米事業所	久留米市

(注) クラスは、数字が学年、アルファベットが学科(A:機械、E:電気電子、S:制御情報、C:生物応用、M:材料)

⑨ 目標に対する達成度合・課題等の掌握・対策



⑨目標に対する達成度合・課題等の掌握・対策

自己点検評価書(本校独自) →HP公開

資料1-2

平成26年度年度計画・機関別認証評価・JABEE項目 関係部署対応表									
機関別	年度計画	機関別認証評価	JABEE項目	関係部署	達成度	課題	対策	評価	備考
1	業務の質の向上に努める目標を達成するために取るべき措置								
1	教育に関する事項								
1	(1) 入学等の確保								
1	(1) ①	①	①	◎	◎	◎	◎	◎	◎
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>年度計画 機関別認証評価 JABEE 実施項目</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>関係部署 ◎: △取り纏め ○: 該当部署 △: ◎と連携</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>担当部署 報告内容 (9月: 前期) (2月: 年度)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>4段階 評価 担当部署自己評価 委員会評価</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>担当部署 次年度対応</p> </div> </div>									

⑨自己点検評価書 抜粋(昨年度指摘関連事項)

[最左欄]		平成26年度		教務主	学生主
ローマ数字欄		認: 機関別認証評価で指摘された項目(○: 書面指摘, △: 訪問調査時指摘)		主	主
		外: 外部評価委員会で指摘された項目 ⑨		主	主
8	認外	1	(1) ② ○一日体験入学アンケート実施、分析および対策検討	○	
9	外	1	(1) ⑥ 一日体験入学アンケート項目の見直し(外部評価委員会指摘等)	○	
16	認外	1	(1) ④ 入学動機に関するアンケート調査、分析および対策検討	○	
36	認外	1	(2) ③ 学生の授業評価アンケート実施、分析および対策検討		
37	外	1	(2) ⑦ 学生の授業評価アンケート項目の見直し(外部評価委員会指摘内容等)		
39	認外	1	(2) ③ 卒業生・修了生アンケートの実施、分析および対策検討		
48	認外	1	(2) 専攻科修了生の就職先企業を対象としたアンケート調査実施、分析および対策検討		
49	I	1	(4) ⑧ 4年生工場見学旅行および低学年工場見学の実施	○	
103	外	1	(5) ④ 人権意識の確立やDV防止教育体制の検討		○
129	認外	1	(5) ① 学生対象の各種アンケート調査実施、分析および対策検討		○
145	外	1	(6) ⑩ 設備整備マスタープランの継続的見直し	◎	
175	外	1	(1) 本科・専攻科進路の県内・県外割合把握、公開		
211	外	2	(5) 久留米市「大学等のみえるまちづくり」への参画		○
250	外	4	(2) 産学民連携テクノセンターの活動強化内容の把握		
251	外	4	(3) 大型設備を有効活用するための方策検討	◎	

⑩施設・設備の計画的整備

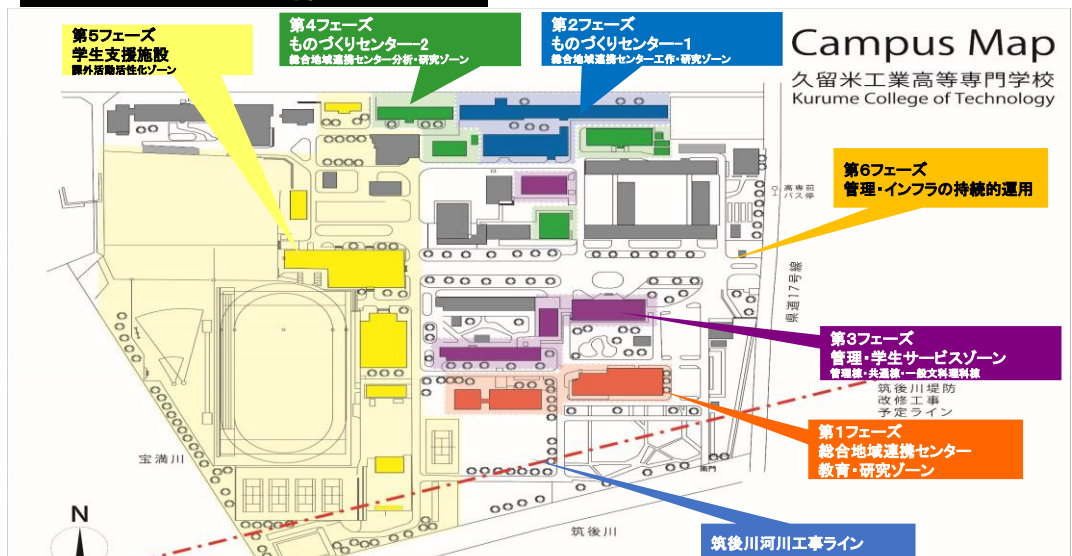
文科省 国立大学法人等施設整備 5か年計画に基づく

久留米高専キャンパスマスタープラン

目次	1	久留米高専の理念	14	キャンパス 整備計画表1
	2	キャンパスマスタープランの基本方針	15	キャンパス 整備計画表2
	3	5か年計画	16	キャンパス 整備計画表【第1・2・3フェーズ】
	4	キャンパス概要	17	キャンパス 整備計画【第5・5・6フェーズ】
	5	老朽化状況及び最近5年間の整備状況	18	キャンパス 整備【第1・2フェーズ】
	6	耐震化状況	19	今後5年間実施計画(1)
	7	キャンパス バリアフリー【現状】【計画】	20	今後5年間実施計画(2)
	8	キャンパス 基幹整備 給水・排水・ガス	21	キャンパス 整備計画表【第5-6フェーズ】
	9	キャンパス 基幹整備 電気	22	構内施設の現状と課題(2009)
	10	キャンパス 消費エネルギー等	23	構内施設の現状と課題(2013)
	11	キャンパス ゾーニング	24	筑後川河川整備計画
	12	キャンパス 動線計画	25	河川整備に伴う久留米高専について
	13	キャンパス 整備計画図	26	キャンパス概要(旭町)

⑩施設・設備の計画的整備

キャンパス整備計画図



⑩施設・設備の計画的整備

キャンパス整備 年次計画表

年次整備計画表				第3次5か年計画					第4次5か年計画					備考	
種名称	整備内容	整備面積 (㎡)	整備費 (千円)	H24年度以前	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度以降			
◆流学民連携テノセンター新築	新築	410	77,201												
◆図書棟改修	耐震改修	1,700	209,131												
◆もみづのセンター改修1期 (機械電気設備更新等、機械工作工場)	老朽改繕	2,060	258,772												
◆旧情報処理センター改修	老朽改繕	300	29,400												
◆管理棟耐震改修	耐震改修	1,120	144,900												
◆一般共通棟棟替え	老朽改繕	200	10,000												
◆一般文科・理科棟改修	老朽改繕	1,550	146,000												
◆もみづのセンター改修2期 (総合製作設備更新、シミュ、熱・材力学実験、応用実習室、材料実習棟)	老朽改繕	1,690	219,700												
◆第一体育館改修	老朽改繕	1,120	140,000												
◆武道場改修	老朽改繕	450	56,250												
◆第二体育館改修	老朽改繕	880	114,400												
◆学生館改修	老朽改繕	610	76,250												
◆弓道場耐震改修	耐震改修	160	20,800												
◆倉庫棟修繕改修	耐震改修	220	28,600												
◆基幹棟整備(運動種整備(陸上・フール))	老朽改繕	—	68,250												Ⅲ期に分けて整備 築後川原防
◆基幹棟整備(運動種整備(野球場・テニスコート))	老朽改繕	—	33,600												Ⅲ期に分けて整備 築後川原防
◆基幹棟整備(駐車場・駐輪場・道路改修)	老朽改繕	—	281,400												Ⅲ期に分けて整備 築後川原防
◆基幹棟整備(インフラ整備)	老朽改繕	—	390,600												Ⅳ期に分けて整備
◆専門教室棟改修	老朽改繕	660	85,800												
◆筑後川河川堤防工事															

第3次
国立大学法人等
施設整備
5か年計画
(平成23～27年度)

第4次
国立大学法人等
施設整備
5か年計画
(平成28～32年度)

説明資料

教育の現状と改善について

教務主事 和 泉 直 志

教育の現状と改善について

教務主事

在学状況・進路状況

認定専攻科における学士の学位の授与に係る
特例の適用認定

「モデルコアカリキュラム」への対応

数学補習指導

ものづくり教育センターの改修

教育研究支援室技術専門員表彰

平成24年度補正予算による教育研究設備の充実

在校生数・教職員

2014.4.1 ()は女子で内数

本科

学 科	入学 定員	総定員	現 員					計
			1年	2年	3年	4年	5年	
機械工学科	40	200	42 (0)	46 (0)	40 (0)	57 (3)	39 (4)	227 (7)
電気電子工学科	40	200	43 (2)	40 (5)	45 (7)	49 (3)	36 (1)	213 (18)
制御情報工学科	40	200	41 (8)	45 (4)	42 (3)	46 (5)	38 (2)	212 (22)
生物応用化学科	40	200	40 (22)	42 (26)	46 (22)	36 (20)	38 (16)	202 (106)
材料工学科	40	200	41 (11)	41 (14)	48 (9)	41 (10)	38 (13)	209 (57)
計	200	1000	207 (43)	214 (49)	221 (41)	229 (41)	189 (36)	1060 (210)

留学生

出身国	受 入 数					計
	1年	2年	3年	4年	5年	
インドネシア			1			1 (0)
マレーシア			2	1	1 (1)	4 (1)
モンゴル					1 (1)	1 (1)
バングラデシュ				1		1 (0)
計	0 (0)	0 (0)	3 (0)	2 (0)	2 (0)	7 (2)

教職員

	教 育 職 員						計
	校長	教授	准教授	講師	助教	助手	
定 員	1	36	35	0	7		79
現 員	1	28(2)	33(2)	2	15[4]	0	79

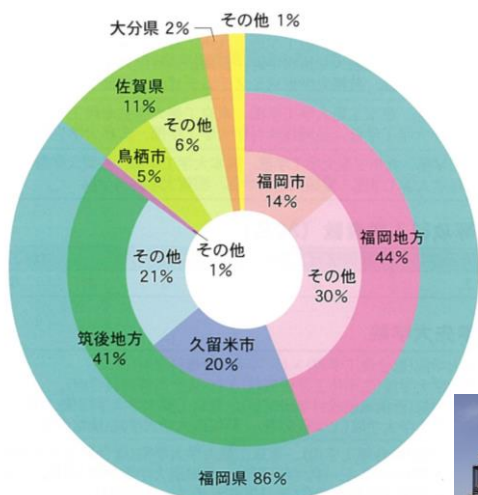
[]は再雇用フルタイム教員

専攻科

専 攻	入学 定員	総定員	現 員			計
			1年	2年		
機械・電気システム工学専攻	12	24	19	18 (0)	37 (1)	
物質工学専攻	8	16	11	14 (1)	25 (3)	
計	20	40	30	32 (1)	62 (4)	

技術職員	事務職員	合 計
17	28	124
17	28	124

在校生出身地



2014.4.1 現在

男子寮(筑水寮)
定員210名、現員146名(留学生5名)



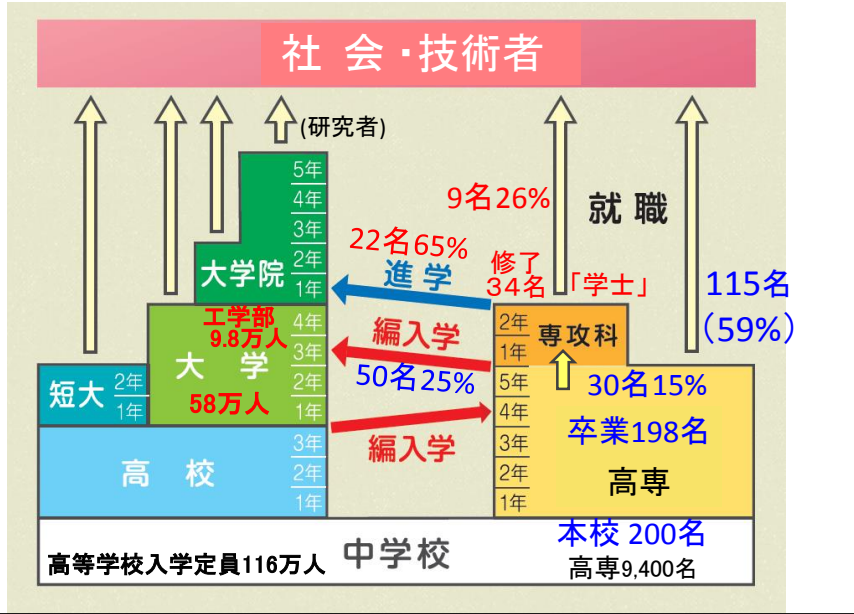
女子寮(つつじ寮)
定員30名、現員29名(留学生2名)



糸島・嘉麻	2
福岡市	7
福岡南部	6
朝倉市・郡	3
筑後	4
日田	4
愛媛	1
留学生	2

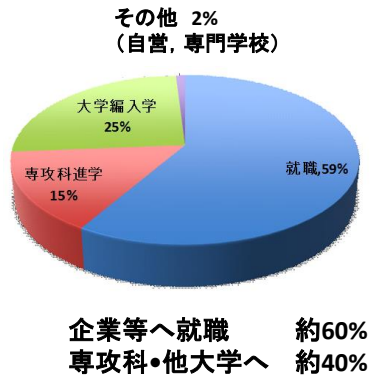
高専卒業/修了後の進路

2014.3 卒業・修了

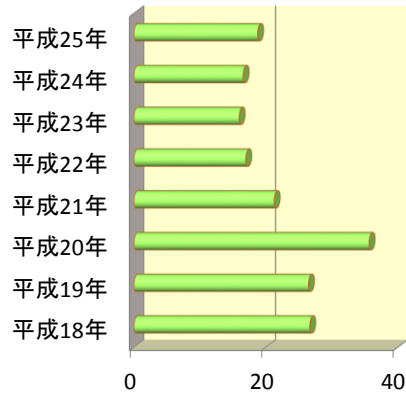


平成25年度 本科卒業生の就職

2014.3卒業



就職希望者に対する倍率



不況時にも、非常に高い求人倍率

本科卒業生の主な就職業種 H26.3卒業

		(平成26年3月卒業生)					
区分	学科	機械	電気電子	制御情報	生物応用	材料	合計
		工学科	工学科	工学科	化学科	工学科	
就職者数		21	29	23	21	21	115
農業							
電気、ガス、熱供給、水道業		1	8	2	2		13
製造業	食料品・飲料・たばこ・飼料						
	化学工業・石油・石炭製品	1	1	2	14	3	21
	鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	1	1			5	7
	一般機械器具						
	電気・情報通信機械器具			5			5
	輸送用機械器具		1	1		3	5
	精密機械器具	1		6		1	8
その他の製造業	12	10		4	6	32	
情報通信業		1	2	4			7
運輸業		2	1				3
卸売小売業							
学術・開発研究機関		1					1
サービス業			4	3		2	9
建設業			1				1
その他		1			1	1	3
合計		21	29	23	21	21	115

78

102

過去3年間の本科卒業生進学者数（抜粋）

年度	23	24	25	合計	年度	23	24	25	合計
長岡技科大	2	3	6	11	九州大学	8	7	7	22
豊橋技科大	7	8	9	24	九州工業	8	11	6	25
東北大学				0	佐賀大学	2	7	2	11
筑波大学	2	2	1	5	熊本大学	2	3	5	10
千葉大学		1	1	2	宮崎大学		1		1
東京大学	1	2		3	鹿児島大		1		1
東京工業大学	1	1	4	6	琉球大学		1		1
東京農工大学	1		2	3					
横浜国立大学	1		1	2	福岡大学	1			1
首都大学東京		2	1	3	九州造形短大		1		1
名古屋工大	1			1					
京都大学				0	大学合計	43	57	50	150
大阪大学	1	2		3					
神戸大学	1			1					
広島大学		2	1	3	本校専攻科	31	28	30	89

平成25年度 専攻科修了生の進路

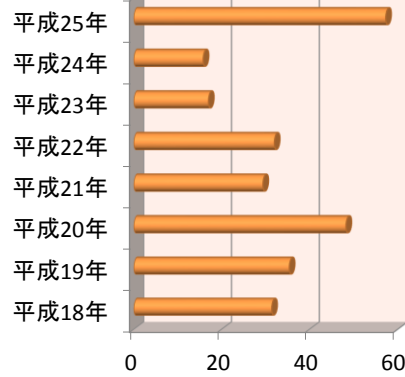
2014.3 修了

就職希望者に対する倍率

	修了	就職	大学院	その他
機械・電気システム工学専攻	23	4	16	3
物質工学専攻	11	5	6	0

大学院進学

65%



過去5年間の進学大学院

年度		21	22	23	24	25	合計
国立	長岡技術科学大学大学院		1			1	2
	豊橋技術科学大学大学院	3					3
	北陸先端技術科学大学大学院					2	2
	北海道大学大学院				1	1	2
	東北大学大学院	1					1
	東京大学大学院			1	1	1	3
	東京工業大学大学院		3	2	1	4	10
	筑波大学大学院			1	1		2
	名古屋大学大学院	1	1				2
	京都大学大学院				1	1	2
	九州大学大学院	9	9	5	9	5	37
	九州工業大学大学院	1		3	1	4	9
	情報科学芸術大学院大学		1				1
私立	早稲田大学大学院		1			3	4
合計		15	16	12	15	22	80
進学率%		44	46	29	33	65	43
修了者		32	35	41	45	34	187

H26

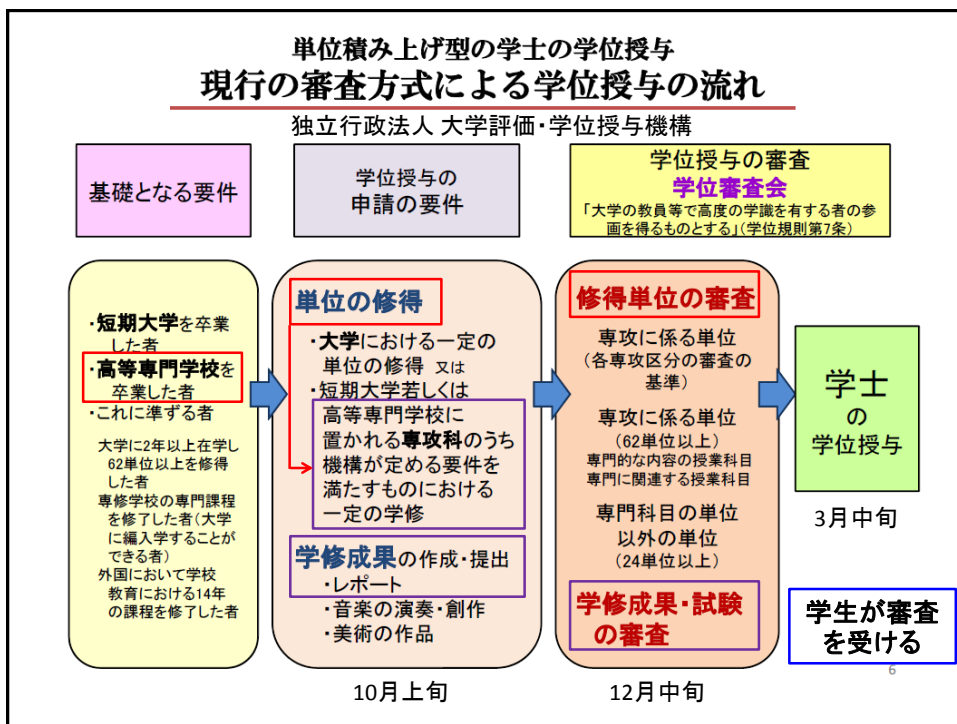
合格20名

67%

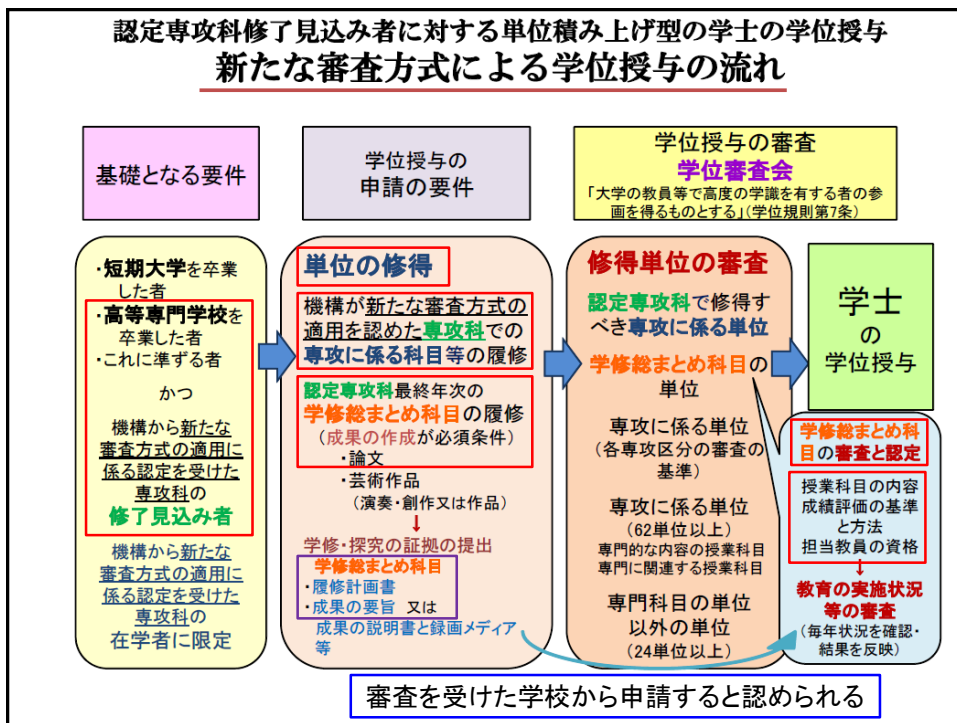
見込30名

単位積み上げ型の学士の学位授与 現行の審査方式による学位授与の流れ

独立行政法人 大学評価・学位授与機構



認定専攻科修了見込み者に対する単位積み上げ型の学士の学位授与 新たな審査方式による学位授与の流れ



「モデルコアカリキュラム」への対応

高等専門学校改革推進事業「分野別到達目標の設定法とその評価法に関する研究と実践」
連携校(平成25年度, 26年度)

学習内容	学習内容の到達目標	対応状況	機械加工学	専門
铸造	鋳物のつくりかたを説明できる。	3	3	
	鋳型の要件、構造および種類を説明できる。	3	3	
	精密鋳造法、ダイカスト法およびその他の鋳造法における鋳物のつくりかたを説明できる。	3	3	
	鋳物の欠陥とその検査方法を説明できる。	3	3	
溶接	溶接法を分類できる。	3	3	
	ガス溶接の接合方法とその特徴、ガスとガス溶接装置、ガス溶接棒とフラックスを説明できる。	3	3	
	アーク溶接の接合方法とその特徴、アーク溶接の種類、アーク溶接棒を説明できる。	3	3	
	サブマージアーク溶接、イナートガスアーク溶接、炭酸ガスアーク溶接で用いられる装置と溶接のしくみを理解できる。	2	2	
塑性加工	塑性加工法の種類を説明できる。	3	3	
	鍛造とその特徴を説明できる。			
	プレス加工とその特徴を説明できる。			
	転造、押し出し、圧延、引抜きなどの加工法を説明できる。			
切削加工	切削加工の原理、切削工具、工作機械の運動を説明できる。			
	バイトの種類と各部の名称、旋盤の種類と構造を説明できる。	2	1	

学習内容の適合度を選択
3: (学習内容の到達目標のすべてに適合している)
2: (学習内容の到達目標の一部が適合していない)
1: (授業では実施していない)

平成25年度: 適合度調査

平成26年度: Webシラバス パイロット入力 (生物応用化学科)

The screenshot displays a web-based syllabus system for 'プログラミング1' (Programming 1). The interface includes the following sections:

- 科目基礎情報 (Subject Basic Information):** Lists course title (プログラミング1), subject number (0042), subject division (必修), units (2), and target students (1年生).
- 到達目標 (Learning Objectives):** Lists objectives such as '変数とデータ型の概念を説明できる。' (Explain the concepts of variables and data types) and '代入や演算子の概念を理解し、式を記述できる。' (Understand the concepts of assignment and operators, and be able to write expressions).
- JABEE標準との関係 (Relationship with JABEE Standards):** A section for accreditation standards.
- 教育方法等 (Education Methods):** A section for teaching methods.
- 授業計画 (Lesson Plan):** A table with columns for '回数' (Number of sessions), '授業内容・方法' (Lesson content/method), and '到達目標' (Learning objectives).

回数	授業内容・方法	到達目標
1回目	ガイダンス	演習家のパソコンやLMSへのログインができる
2回目	コンピュータに計算をさせよう (1)	整数型の四則計算について、計算結果を表示できる
3回目	コンピュータに計算をさせよう (2)	printfを用いた文字列の表示が行える
4回目	コンピュータに計算をさせよう (3)	整数型の定数を宣言し、計算に利用できる
6回目	コンピュータに計算をさせよう (4)	putsを用いた文字列の表示ができる
8回目	コンピュータに計算をさせよう (5)	キーボードから数値を入力し計算に利用できる

数学補習指導 平成25年度

背景: 学生の習熟度の二極化や学習意欲および考え抜く力の低下

受講者 (希望者)	基礎コース	発展コース
電気電子工学科1年	14	5
制御情報工学科1年	19	7

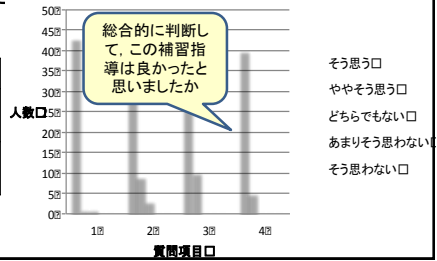
期間・日時: 平成26年1月8日から2月5日の水曜日 5限(全5回)

TA: 4名(教室ごとに2名)(4年, 5年)
 予め予習をしてきてもらい, 教員と事前打ち合わせを行う。

指導内容 (TA): 1週あたりの授業で学習した内容について, 教材(問題)を配布。
 問題を解く上で鍵となる内容をTAが板書。
 机間巡視を行い学生の質問に答える。
 答案を添削, 間違いが多かった箇所の解説

効果

	補習前の平均点	補習後の平均点
電気電子工学科	38.5点 クラス平均55点	45点 クラス平均51点
制御情報工学科	33点 クラス平均58点	60点 クラス平均70点



数学補習指導

対象学生: 1年生の希望者



個別指導



教え合い



添削指導

実施期間: 週1回90分×4回を1セットにして、年間あたり4セット実施

TA: 3年生から5年生の計6名

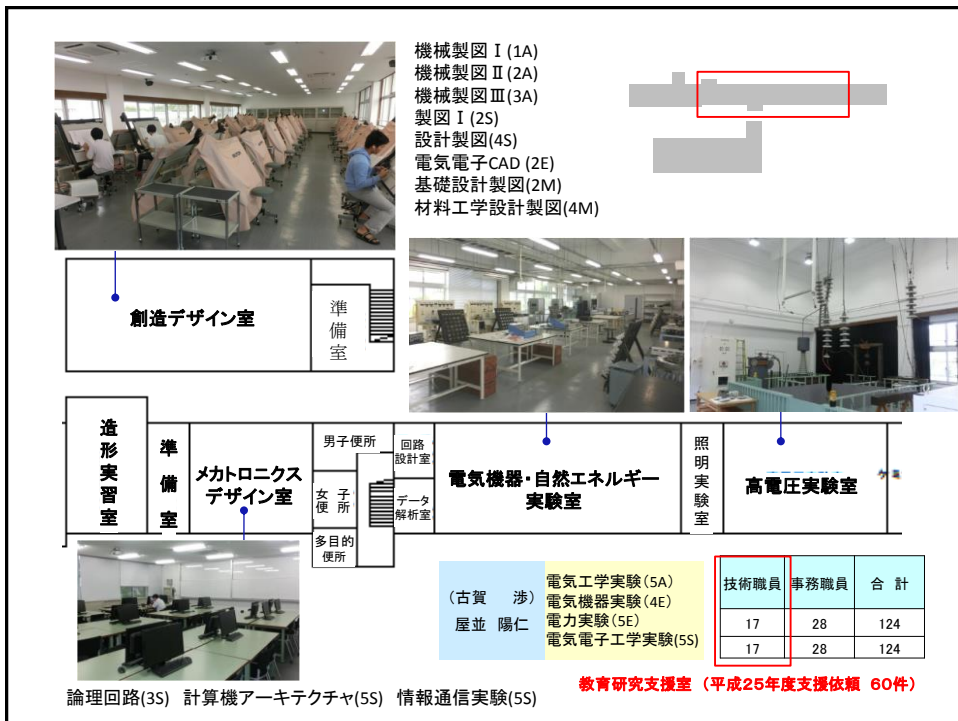
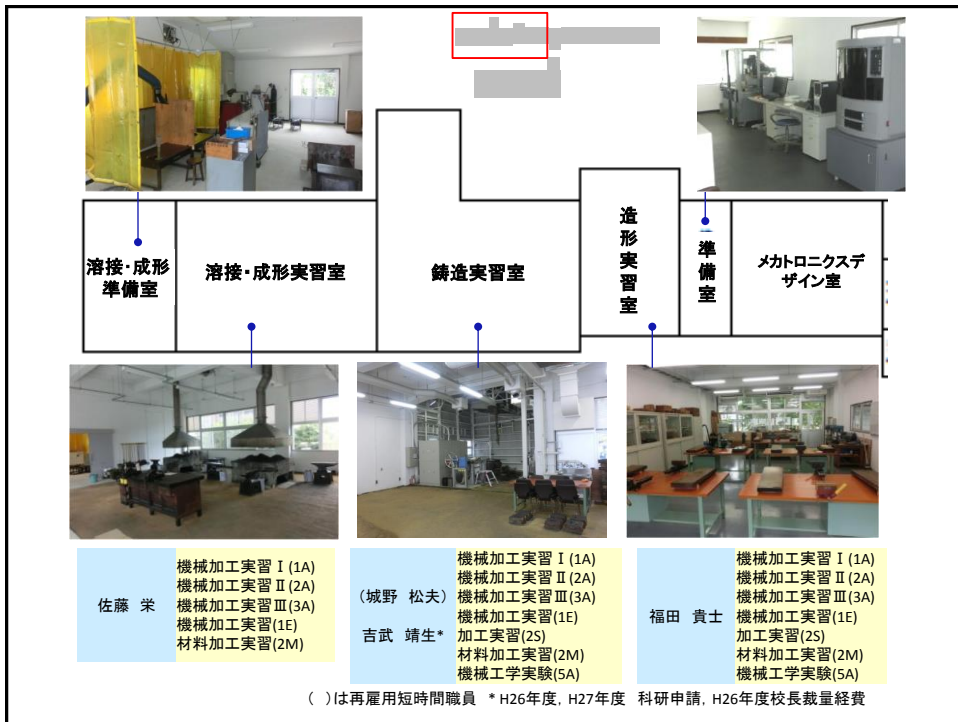
コース: 発展コース、基礎コースの2コース(計44名)

指導方法: 1教室あたり2名のTAと1名の教員が担当(プリント演習→個別指導→答案の添削)のローテーション

17

ものづくり教育センター開所式 4/23(水)





加工技術研究室

精密測定室1

精密測定室2

技術相談室

機械加工実験実習室

NCワイヤーカット 放電加工機

黒川 秀明* 馬田 靖彦	機械加工実習 I (1A) 機械加工実習 II (2A) 機械加工実習 III (3A) 機械加工実習 (1E) 加工実習 (2S) 材料加工実習 (2M) 機械工学実験 (5A) (馬田)	機械加工実習 II (2A) 機械加工実習 III (3A) 加工実習 (2S) 材料加工実習 (2M) 機械工学実験 (5A)
	山下 友廣 芦中 辰也	機械加工実習 III (3A) 卒業研究 創造工学実験 (専攻科)

** H26年度 科研 採択

* H26年度 理事長表彰

平成26年度 国立高等専門学校 職員表彰 理事長賞受賞

黒川秀明: 技能検定を利用した技術職員の能力向上と産学連携への取り組み



↑ 前列左から2番目が黒川技術専門員, その後に上田校長
前列中央 小畑 秀文理事長

黒川秀明 高い加工技術をもち、資格取得や技能検定に精通
現代の名工(H20), 黄綬褒章(H22), ものづくりマイスター(H25)

高専(企業)の課題:熟練者から若手への技能伝承
各技術職員の技能把握

工夫 : 資格取得や技能検定合格という目標を持ち込む

成果 : 本校の技術職員の能力を客観的に評価
若手技術職員各自の技能の向上の具体的道標

旋盤3級 2名, 機械組立仕上2級 2名, 機械保全2級 1名, 同 1級 1名
職業訓練指導員免許(機械系)3名
安全衛生特別教育に基づく特別教育(研削用砥石の取替え又は取替え時の試運転の業務 学科・実技) 3名

地元企業に働く人の資格取得や技能検定合格のニーズをとらえた
公開講座や講習会の開催し

→本校と地元産業界の産学連携の進展

仕上げ作業実技講習会 2014(3名)、2013(9名)、2012(8名)、2011(6名)
旋盤(技能検定3級指導)2社, 研削盤(技能検定2級指導)1社
安全衛生特別教育に基づく特別教育(研削用砥石の取替え又は取替え時の試運転の業務 学科・実技) 工業高校教員 2名

平成24年度補正予算による教育研究設備の充実

整理番号	品名
43-1	静的万能試験機
43-2	エネルギー教育用実験装置
43-3	ドラフトチャンバー(材料工学科)
43-4	模擬FAラインによる制御技術学習キット
43-5	模擬FAラインによる制御技術学習キット
43-6	全自動変態記録測定装置
43-7	レーザ回折式ナノ粒子系分布測定装置
43-8	ICP発光分析装置
43-9	核磁気共鳴装置
43-10	テラヘルツ時間領域分光システム
43-11	平面研削盤
43-12	溶解炉
43-13	電気式溶解炉
43-14	自記X線回折装置
43-15	多機能走査型X線光電子分光分析装置
43-16	NCワイヤーカット放電加工機
43-17	ドラフトチャンバー(一般理科・化学)
43-18	ドラフトチャンバー(生物応用化学科)
43-19	普通旋盤 3台
43-20	原子吸光分光光度計
43-21	材料特性評価教育システム 一式
43-22	自動化型走査電子顕微鏡材料観察システム
43-23	シャルピー衝撃試験機
43-24	材料切断機
43-25	立形フライス盤

(450, 530, 949)

整理番号	品名
436	高速液体クロマトグラフ
437	熱分析装置
438	プリント基板加工システム
439	組み込みシステム教育用プラットフォーム
440	高温硬さ試験機
441	CAD/CAE/CAM・3Dプリンター
442	ガスクロマトグラフ
443	サイズ排除クロマトグラフィー分子量測定装置
444	送風機(空気力学実験・流れの可視化装置)
445	ナノ粒子測定装置
446	紫外可視分光光度計
447	表面形状計測システム
448	製図機械ドラフター
449	HSオールインワン蛍光顕微鏡
450	学生実験用計測システムの更新
451	情報処理教育の高度化に対応した組み込み技術育成ロボット教材
452	高度教育対応演習システム(CALLシステム)

(150, 200, 000)

平成24年度補正予算による教育研究設備の充実



43-13 電気式溶解炉
(ものづくり教育センター 鑄造実習室)



43-2 エネルギー教育用実験装置
(図書館屋上, ものづくり教育センター 電気機器・自然エネルギー実験室)



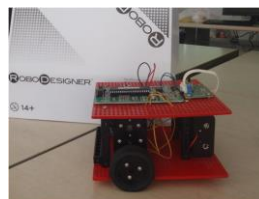
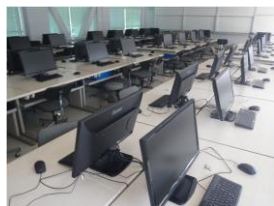
447 表面形状計測システム
(ものづくり教育センター 精密測定室)

43-13

43-2

447

平成24年度補正予算による教育研究設備の充実



451 情報処理教育の高度化に対応した組み込み技術育成ロボット教材(50セット)



43-9 核磁気共鳴装置



43-10 テラヘルツ時間領域分光システム



43-15 多機能走査型X線光電子分光分析装置

説明資料

グローバル人材の育成について

一般科目文科系 准教授 金城博之

グローバル人材の育成について

独立行政法人 久留米工業専門学校
平成26年度外部評価委員会

平成26年11月21日



目次

1. 英語履修時間の高校・大学との比較
2. 一般文科（英語）の取り組み
 - 2-1 英語能力判定テストの実施
 - 2-2 基礎習得の徹底
 - 2-3 自学学習の奨励
 - 2-4 各教員個別の取り組み （以上発表：一般文科英語担当・金城准教授）
3. 一般文科（英語）以外の本校の取り組み
 - 3-1 TOEIC I Pの受験
 - 3-2 専攻科2年機・電システム工学専攻の技術英語（教育課程）
 - 3-3 外国人講師による少人数英語教育（教育課程外）
 - 3-4 外国人特別聴講生との交流
 - 3-5 海外の大学生等との交流
4. 学生の海外留学・渡航
 - 4-1 海外留学と特例制度
 - 4-2 学術交流に関する覚書締結
 - 4-3 学生の海外渡航 （以上発表：教務主事補・小田准教授）



目次

1. 英語履修時間の高校・大学との比較

2. 一般文科（英語）の取り組み

- 2-1 英語能力判定テストの実施
- 2-2 基礎習得の徹底
- 2-3 自学学習の奨励
- 2-4 各教員個別の取り組み (以上発表：一般文科英語担当・金城准教授)

3. 一般文科（英語）以外の本校の取り組み

- 3-1 TOEIC IPの受験
- 3-2 専攻科2年機・電システム工学専攻の技術英語（教育課程）
- 3-3 外国人講師による少人数英語教育（教育課程外）
- 3-4 外国人特別聴講生との交流
- 3-5 海外の大学生等との交流

4. 学生の海外留学・渡航

- 4-1 海外留学と特例制度
- 4-2 学術交流に関する覚書締結
- 4-3 学生の海外渡航 (以上発表：教務主事補・小田准教授)



1. 単位数・履修時間比較（本科1～3年）(1)

学校名	単位数	時間(分)
久留米高専1～3年	15	21000
明善高校(普通科・理I)	16	28200
東筑高校(普通科・理系I)	16	28200

備考：

- ・ 久留米高専は1コマ100分、高校は1コマ50分
- ・ 久留米高専は中間試験を除き年間28週、高校については、中間試験・期末試験を除いて年間34週として時間を算出
- ・ 両高校とも、多数の課外授業がある



1.単位数・履修時間比較(本科4、5年) (2)

学校名	単位数	時間(分)
久留米高専(4~5年)	4(制御3、材料5)	6000(制御4500、材料7500)
九州大学工学部 (電気情報工学科)	8	6750~10800
久留米工業大学(工学部)	6	4050 または 5400
----- 専攻科に進学した場合 -----		
久留米高専(専攻科)	5	7500
久留米高専 (本科4、5年+専攻科)	9(制御8、材料10)	13500(制御12000、材料15000)

備考:

- 久留米高専は1コマ100分、その他は1コマ90分
- 1単位15コマの場合と2単位15コマの場合がある
- 久工大・本校の単位数は、学科により異なる(制御3、材料5)
- 対象は必修科目のみ



1.単位数・履修時間比較(高校・大学と本校) (3)

学校名	単位数	時間(分)
久留米高専(本科:1~5年)	20(15+5)	27000(制御25500、材料28500)
高校+九州大学工学部 (電気情報工学科)	24(16+8)	34950~39000
久留米工業大学(工学部)	22(16+6)	32250または33600

備考:

- 久留米高専は1コマ100分、その他は1コマ90分
- 1単位15コマの場合と2単位15コマの場合がある
- 久工大・本校(制御3、材料5)の単位数は、学科により異なる
- 対象は必修科目のみ



1.高専間の単位数比較(本科・福岡県内) (4)

高専名	1コマの時間	必修科目単位数	時間(分)	選択科目単位数
久留米	100分	18~20	27000~30000	3
有明	50分	11	16500	13~15
北九州	90分	19または20	25650~27000	2

備考:

- 本科5年間について算出
- 有明高専について、必修科目単位数は少ないが、実質はほとんどの選択科目を習得しなければ卒業できない制度になっている



1.高専間の単位数比較(本科・他地域) (5)

高専名	1コマの時間	必修科目単位数	時間(分)	選択科目単位数
久留米	100分	18~20	27000~30000	3
明石	90分	18~20	24300~27000	6
豊田	90分	22~26	28350~32400	※
群馬	90分	22	29700	(1)

備考:

- 本科5年間について算出
- 学科により、必修科目単位数は異なる
- 豊田高専には、必修科目の概念がない
- 豊田高専の英語Ⅲ(2単位)は学修単位(15コマ)
- 群馬高専・機械工学科のみ選択科目(工業英語)がある



1. 実際のコマ数の比較 (6)

電子電気工学科 2年 後期時間割 100分授業 (60分×2)

	月	火	水	木	金
1校時	国際Ⅱ	物理	物理	プログラミングⅡ	電気回路Ⅰ
	国際Ⅱ	物理	物理	プログラミングⅡ	電気回路Ⅰ
2校時	電気磁気学Ⅰ	英語演習Ⅰ	体育Ⅱ	秋経	数学ⅡA
	電気磁気学Ⅰ	英語演習Ⅰ	体育Ⅱ	秋経	数学ⅡA
3校時	数学ⅡA	数学ⅡB	HR	英語Ⅱ	化学実験
	数学ⅡA	数学ⅡB	化学Ⅱ	英語Ⅱ	化学実験
4校時	世界史	国際Ⅱ	化学Ⅱ		
	世界史	国際Ⅱ			

前任校 (県立高校普通科) 60分授業

	月	火	水	木	金
0校時	英語Ⅱ	数学ⅡB	英語Ⅱ	数学ⅡB	現代文
1校時	社会選択 世B・日B・地B	体育	社会選択 世B・日B・地B	英語Ⅱ	数学ⅡB
	2校時	数学ⅡB	英語Ⅱ	古典	理科選択 物I・生I・化I
3校時	現代文	理科選択 物I・生I・化I	ライティング	数学ⅡB	体育
	4校時	古典	数学ⅡB	数学ⅡB	保健
5校時	理科選択 物I・生I・化I	社会選択 世B・日B・地B	家庭総合	ライティング	数学ⅡB
	6校時	英語Ⅱ	現代文	家庭一般	国際演習



目次

1. 英語履修時間の高校・大学との比較

2. 一般文科(英語)の取り組み

2-1 英語能力判定テストの実施

2-2 基礎習得の徹底

2-3 自学学習の奨励

2-4 各教員個別の取り組み

(以上発表：一般文科英語担当・金城准教授)

3. 一般文科(英語)以外の本校の取り組み

3-1 TOEIC IPの受験

3-2 専攻科2年機・電システム工学専攻の技術英語(教育課程)

3-3 外国人講師による少人数英語教育(教育課程外)

3-4 外国人特別聴講生との交流

3-5 海外の大学生等との交流

4. 学生の海外留学・渡航

4-1 海外留学と特例制度

4-2 学術交流に関する覚書締結

4-3 学生の海外渡航

(以上発表：教務主事補・小田准教授)



2-1. 英語能力判定テストの実施

「英語検定協会英語能力判定テスト」の実施(年2回)

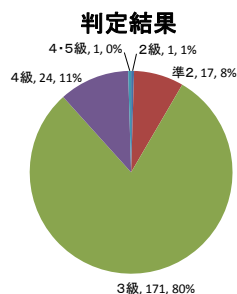
4月・・・レベルC・入学者の学力推移を観察
→英検3級(中学卒業レベル)が8割
英検準2級以上は少数。

6月・・・レベルB・3年生の学力把握、
効果的指導法を分析。TOEICとの比較。
→準2級レベルに上昇する学生も多数。
ばらつきが大きい。

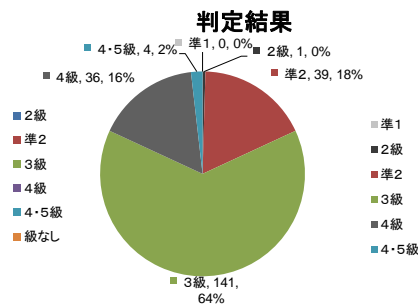


2-1. 英語能力判定テストの実施(2)

「英語検定協会英語能力判定テスト」の実施



H23年度一年生



H25年度三年生



2-2. 基礎習得の徹底

授業の重視(基礎力習得の徹底)

1・2年 基礎力習得の徹底

(シラバスの目標の統一)

- ・英語演習 文法参考書・問題集
- ・英語I・II 高校検定教科書使用

3年以降 英語III～IV 英語演習IV 選択英語科目

- ・主に大学用教科書を使用

3年は文法＋読解、4・5年はTOEIC等応用



2-3. 自学学習の奨励 (1)

①CALLシステム導入

- ・H24年度マルチメディア室の改修(Adill300の導入)
PC学習室の新設

・H25年度ネットアカデミーの導入
(4年生)

少人数クラス:2グループに分け、ネットアカデミーをするグループと授業でスピーキングなどの練習をするグループを、前半と後半で入れ替え。4年生は4月と10月にTOEIC50の模擬試験実施、スコア比較

(専攻科)

テキストにTOEIC問題集を使用。
5月にネットアカデミーのTOEIC50を受験。



2-3. 自学学習の奨励 (2)



マルチメディア室



PC学習室



2-3. 自学学習の奨励 (3)

②多読

730冊(平成26年10月現在)

夏休み前の授業で導入。夏休み中に1冊読み、
A4一枚に要約レポート作成。(1年生)



2-4. 各教員個別の取り組み (1)

- ①毎時の英単語テスト(3年生で3000語レベルの単語)
- ②英語で説明をする活動
- ③専攻科2年生のEXTENSIVE READING
コアカリキュラム「毎分120語程度の速度で物語文や説明文を読み、その概要を把握できる。」に対応した速読動。
- ④英語による授業
ネイティブスピーカーのみによる授業(2学年全員)
時事英語(選択科目・41人受講中)
- ⑤ネットアカデミーの評価への導入
- ⑥編入試験の個別指導



2-4. 各教員個別の取り組み (2)

- ②英語で説明する会話活動

英語で説明しなさい。

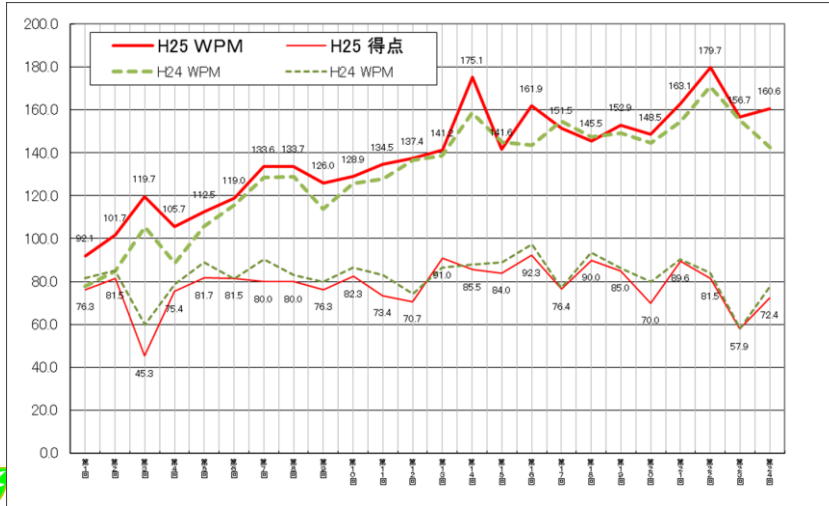


It is something. You can see it at a construction site. **You use it when you don't want** anyone to get in there.



2-4. 各教員個別の取り組み (3)

③専攻科2年生のEXTENSIVE READING



2-4. 各教員個別の取り組み (5)

ネットアカデミーを活用した取り組み 導入例1 英語Ⅱ(2年) 2A, 2C 課題点 20点

- ①PowerWordsコースのレベル2までの全ユニット・実力テスト修了 12点
- ②PowerWordsコースのレベル3の全ユニット・実力テスト修了 8点
- ③英文法コースのレベル1の全ユニットを修了し、
5つのセクション確認テスト全てで75%以上得点 8点

※①は全員が対象、残りの8点は②または③を各自で選ぶ。
(終わったら教員に申し出てチェックを受けること。)

- * PowerWordsコースのレベル1を免除する条件:
レベル1の実力テスト全て90%以上得点し、筆記テスト120問中100問以上正解。
- * 英文法コースのレベル診断テストでレベル2以上となった人は、③でレベル1ではなくレベル2を学習し、修了すれば8点。



2-4. 各教員個別の取り組み (6)

ネットアカデミーを活用した取り組み 導入例2 英語IV 4A, 4M 課題点 20点について

- | | |
|--|-----|
| ①PowerWordsコースのレベル3まで全ユニット・実力テスト修了 | 12点 |
| ②PowerWordsコースのレベル4の全ユニット・実力テスト修了 | 8点 |
| ③英文法コースのレベル1の全ユニットを修了し、
5つのセクション確認テスト全てで80%以上得点 | 8点 |
| ④英文法コースのレベル2または3の全ユニットを修了し、
5つのセクション確認テスト全てで70%以上得点 | 8点 |

※ ①は全員が対象、残りの8点は②～④を各自で選ぶ。(①が終わった人は教員に申し出てチェックを受ける。)

* PowerWordsコースのレベル1を免除する条件:

レベル1の実力テスト全て90%以上得点し、筆記テスト120問中100問以上正解。

* 英文法コースは、レベル診断テストを受けて、自分に合ったレベルを学習してください。



説明資料

グローバル人材の育成について

教務主事補 小 田 幹 雄

説明内容

3. 一般文科(英語)以外の本校の取り組み

- 3-1 TOEIC®IPの受験
- 3-2 専攻科2年機・電システム工学専攻の技術英語(教育課程)
- 3-3 外国人講師による少人数英語教育(教育課程外)
- 3-4 外国人特別聴講生との交流
- 3-5 海外の大学生等との交流

4. 学生の海外留学・渡航

- 4-1 海外留学と特例制度
- 4-2 学術交流に関する覚書締結
- 4-3 学生の海外渡航



説明内容

3. 一般文科(英語)以外の本校の取り組み

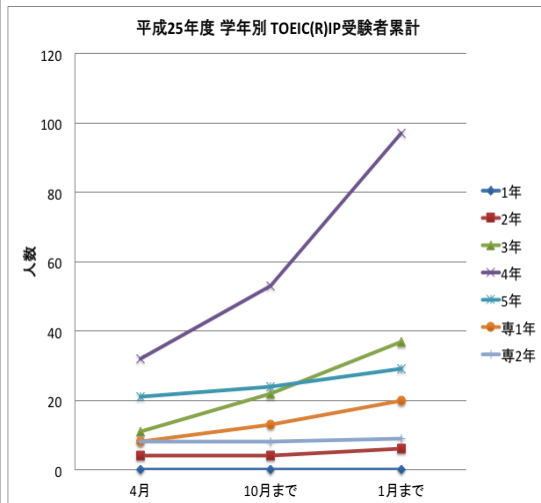
- 3-1 TOEIC®IPの受験
- 3-2 専攻科2年機・電システム工学専攻の技術英語(教育課程)
- 3-3 外国人講師による少人数英語教育(教育課程外)
- 3-4 外国人特別聴講生との交流
- 3-5 海外の大学生等との交流

4. 学生の海外留学・渡航

- 4-1 海外留学と特例制度
- 4-2 学術交流に関する覚書締結
- 4-3 学生の海外渡航



3-1 TOEIC®IP の受験



4月,10月,1月に年3回実施

平均スコア: 380点前後

受験者数

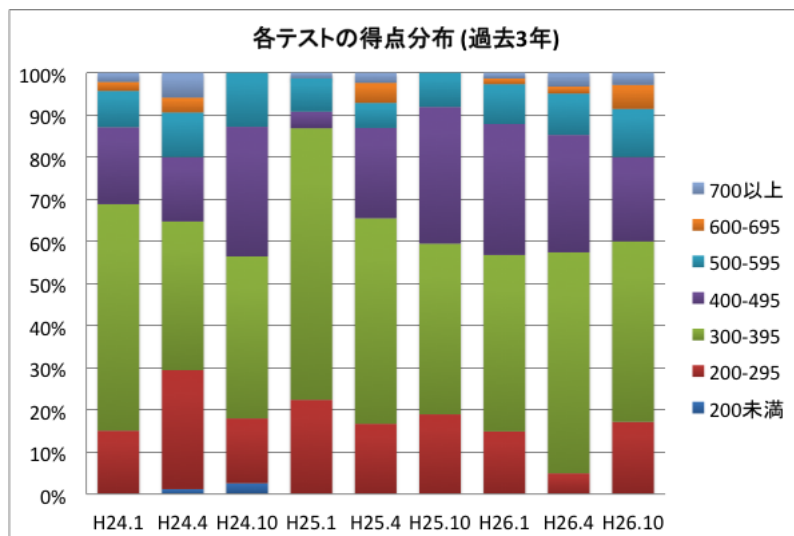
全学生: 約20%

4年生: 約40%

専攻科1年生: 約65%



3-1 TOEIC®IP の受験



説明内容

3. 一般文科(英語)以外の本校の取り組み

- 3-1 TOEIC®IPの受験
- 3-2 専攻科2年機・電システム工学専攻の技術英語(教育課程)
- 3-3 外国人講師による少人数英語教育(教育課程外)
- 3-4 外国人特別聴講生との交流
- 3-5 海外の大学生等との交流

4. 学生の海外留学・渡航

- 4-1 海外留学と特例制度
- 4-2 学術交流に関する覚書締結
- 4-3 学生の海外渡航



3-2 専攻科2年機・電システム工学専攻の技術英語

正規教育課程(必修)

- 技術文献の読解等 (コースごとに異なる題材)
 - プリントによる長文読解 (機械コース)
 - 教科書教材(VOA News Clip Collection)によるReading, Listening (電気電子コース)
 - 教科書教材(技術英文のすべて)の講読とレポート (制御コース)
- 英語によるプレゼンテーションと概要作成 (合同)
 - 発表10分+質疑5分
 - タイKLIMITの大学教員が司会
 - 専攻科1年生, 外国人特別聴講生も参加



英語によるプレゼンテーション



KMILTから招聘した
Kuntpong助教



3-3 外国人講師による少人数英語教育(教育課程外)

目的 海外における就業、海外の大学への留学や交流プログラムへの参加および高専への留学生との交流ができるようなグローバル化に対応した人材を育成することを目的とする。

内容 **外国人講師による少人数教育**

1. 海外での**就労**や海外の**大学**への交流プログラム等で必要となるコミュニケーション能力
2. **発表、討論**の能力
3. **就職面接時**の会話と自己表現能力
4. **リスニング**の能力

受講者 専攻科生または専攻科入学予定者

予算 25万円(H25), 16万円(H26)



3-3 外国人講師による少人数英語教育(教育課程外)

H25年度 毎週土曜日各2時間×14日 (計28時間)

- | | | |
|--------------------------------------|---|--|
| 1. 海外での就労や大学への交流プログラムに必要なコミュニケーション能力 | ➡ | <ul style="list-style-type: none">● 旅行や滞在時の英会話● 自己紹介のスピーチ (2)● 故郷紹介のスピーチ (2) |
| 2. 発表、討論の能力 | ➡ | <ul style="list-style-type: none">● デイベート (1) |
| 3. 就職面接時の会話と自己表現能力 | ➡ | <ul style="list-style-type: none">● 履歴書作成 |
| 4. リスニングの能力 | ➡ | <ul style="list-style-type: none">● 全般 |

カッコ内数字 : 学生に好評だった順位



3-3 外国人講師による少人数英語教育(教育課程外)

H26年度 1週間の集中講座 3or4時間×5日 (計17時間)

- | | | |
|--------------------------------------|---|---|
| 1. 海外での就労や大学への交流プログラムに必要なコミュニケーション能力 | ➡ | <ul style="list-style-type: none">● 全般 |
| 2. 発表、討論の能力 | ➡ | <ul style="list-style-type: none">● デイベート (1) |
| 3. 就職面接時の会話と自己表現能力 | ➡ | <ul style="list-style-type: none">● 就職面接 (2)● 就労申請用ビデオ製作 |
| 4. リスニングの能力 | ➡ | <ul style="list-style-type: none">● 知らない外国人と食事や電話で話しをする (2) |

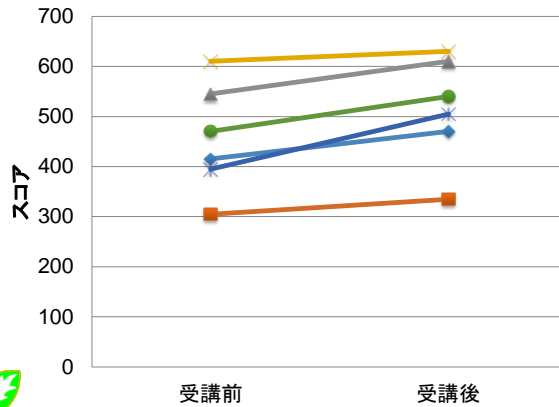
カッコ内数字 : 学生に好評だった順位



3-3 外国人講師による少人数英語教育(教育課程外)

教育効果

プログラム受験前後のTOEIC(R)スコア
(平成25年度受講生)



平均40点
スコア上昇



説明内容

3. 一般文科(英語)以外の本校の取り組み

- 3-1 TOEIC®IPの受験
- 3-2 専攻科2年機・電システム工学専攻の技術英語(教育課程)
- 3-3 外国人講師による少人数英語教育(教育課程外)
- 3-4 外国人特別聴講生との交流
- 3-5 海外の大学生等との交流

4. 学生の海外留学・渡航

- 4-1 海外留学と特例制度
- 4-2 学術交流に関する覚書締結
- 4-3 学生の海外渡航



3-4 外国人特別聴講生との交流

- 専門4学科でタイの大学生8名を受け入れ (H26)
 - 機械: KMITL 1名 (6月8日～7月21日)
 - 電気: KMITL 1名 (6月8日～7月21日)
 - 制御: KMITL 3名 (6月8日～7月21日)
カセサート大学 1名 (5月31日～8月1日)
 - 材料: KMITL 2名 (6月8日～7月8日)
- 研究室でプロジェクトを実施
 - 本校学生と研究・私的に交流
 - 技術英語に参加



本校学生が国際交流



3-4 外国人特別聴講生との交流



寮で行われたGlobal Village Fair



ホストファミリーが開催した国際交流行事に参加する特別聴講生



3-5 海外の大学生等との交流

- KMITLの大学生10名が来校 (H26)
 - 3日間
- 研究室や授業に参加・見学
 - 各研究室見学
 - 授業見学(機械加工 I, 電気機器実験)
 - 授業参加(技術英語)
 - 課外活動交流(プログラミングラボ部)
 - 学生交流(制御情報工学科5年生)



本校学生が国際交流



特別聴講生の説明を聞く



福岡青少年科学館



プロ・ラボ部にプロコン入賞作品について尋ねる



機械加工実習 I の見学



3-5 海外の大学生等との交流



3-5 海外の大学生等との交流

- テマセクポリテク: 45名程度 (毎年)
 - 九州への修学旅行の一環
 - 専攻科1年の実践英語に参加, 制御情報工学科5年と交流
- タイ王国高校生: 15名程度 (H23から)
 - 制御情報工学科の学生と共同実験
 - 生物応用化学科の学生と共同実験
 - 留学生・外国人研究生との交流
- 日本の大学編入を目指すマレーシア人(MJII): 12名 (H25)
 - 生物応用化学科5年生との交流
 - 制御情報工学科の研究室見学
 - 制御情報工学科4年生との共同実験



3-5 海外の大学生等との交流



テマセクの学生と専攻科1年生が
5名程度のグループで自由会話



生化3年生とタイの高校生
が共同で化学実験



説明内容

3. 一般文科(英語)以外の本校の取り組み

- 3-1 TOEIC®IPの受験
- 3-2 専攻科2年機・電システム工学専攻の技術英語(教育課程)
- 3-3 外国人講師による少人数英語教育(教育課程外)
- 3-4 外国人特別聴講生との交流
- 3-5 海外の大学生等との交流

4. 学生の海外留学・渡航

- 4-1 海外留学と特例制度
- 4-2 学術交流に関する覚書締結
- 4-3 学生の海外渡航



4-1 海外留学特例制度

留学する学生

1年から3年(主に3年)の学生が1年間休学し、現地の高校に通う

休学期間 (休学の特別措置)

7月から次年度6月まで休学として扱う (1年間の休学)

成績評価

休学前の成績と休学後の成績を合算し、1年間の成績とする

実績

H26. なし
H25. 2年生1名(米国)
H24. 1年生1名(米国), 3年生2名(米国)
H23. 3年生1名(米国)
H22. 3年生1名(米国)



説明内容

3. 一般文科(英語)以外の本校の取り組み

- 3-1 TOEIC®IPの受験
- 3-2 専攻科2年機・電システム工学専攻の技術英語(教育課程)
- 3-3 外国人講師による少人数英語教育(教育課程外)
- 3-4 外国人特別聴講生との交流
- 3-5 海外の大学生等との交流

4. 学生の海外留学・渡航

- 4-1 海外留学と特例制度
- 4-2 学術交流に関する覚書締結
- 4-3 学生の海外渡航



4-2 学術交流に関する覚書締結

国・地域名	機関名	
シンガポール	ポリテク5校 (Republic, Singapore, Nanyang, Ngee Ann, Temasek)	機構締結 ↑
台湾	5大学 (国立聯合大學, 国立高雄第一科技大學, 国立台北科技大學, 中州科技大學, 正修科技大學)	
香港	Vocational Training Council (13校)	
タイ	モンクット王工科大学ラカバン	
インドネシア	スラバヤ電子工学ポリテク	
マレーシア	ペトロナス工科大学	九州高専締結 ↓
インドネシア	ガジャマダ大学	
タイ	モンクット王工科大学北/バンコク	
タイ	カセサート大学	
ベトナム	ハノイ大学	
中国	厦門理工学院	



4-3 学生の海外渡航

- 英語キャンプ in シンガポールポリテク
- テクニカルチャレンジ in 香港
(VTC/Inst. of Vocational Edu.)
- プログラミングチャレンジ in リパブリックポリテク
- 学生交流 in バンコク
- 学生交流 in マレーシア



4-3 学生の海外渡航:英語キャンプ in シンガポール

- 8月17日～31日. 一部の学生にJASSOから奨学金支給
- 本校から1名参加(全体で20名)
- 9時から16時まで英語のみによる授業
 - 友達作りのための会話
 - 意見を表現するための作文
 - 職場での電話対応
 - 履歴書の書き方と就職面接について



4-3 学生の海外渡航:テクニカルチャレンジ in 香港

- 8月18日～27日. 一部の学生にJASSOから奨学金支給
- 本校から2名参加(全体で15名)
- 木製の材料を利用して規定の大きさの橋を作成
- 橋の中央に荷重をかけて強度を競う



4-3 学生の海外渡航:プログラミングチャレンジ in シンガポール

- 3月8日～18日. 一部の学生にJASSOから奨学金支給
- 本校から1名参加(全体で11名)
- ポリテクの学生とペアになってAndroidアプリを開発
- 最終日に英語にて成果発表
- NTTシンガポールの見学



4-3 学生の海外渡航:学生交流 in バンコク (1/2)

- 8月26日～9月7日. 9高専連携事業から交通費支給
- 本校から1名参加(全体で5名)
- KMITL, カセサート大学, KMUTNBにて学生交流
- 企業見学
 - Ratchaburi Power社(電力), Kulthorn Kirby社(コンプレッサー)



KMITLでのIT Open house



Ratchaburi Power



4-3 学生の海外渡航：学生交流 in バンコク (2/2)



カセサート大学での研究室見学と歓迎会



KMUTNBでの研究室見学と学長面談



4-3 学生の海外渡航：学生交流 in マレーシア

- 3月9日～17日、9高専連携事業から交通費支給
- 本校から2名参加(全体で9名)
- ペトロナス工科大学
 - 所属高専について英語でプレゼンテーション
 - 授業に参加
 - プロジェクトのミーティング、プログラミングや制御などの専門
- 工場見学
 - Camfil社(空気清浄機), Spritier社(飲料水)



4-3 学生の海外渡航:専攻科海外インターンシップ

- 平成20年度より毎年実施
- 夏休み, 春休みの3週間
- 東京にて事前研修と事後発表会
- 本校からの参加者
 - 平成21年度1名: 東亜合成(株)(マレーシア)
 - 平成22年度1名: (株)森精機製作所(スイス)
 - 平成23年度1名: (株)荏原製作所(米国)
 - 平成24年度3名:
 - オーエスジー(株)(上海), (株)小松製作所(インドネシア), (株)荏原製作所(英国)



4-3 学生の海外渡航:国際会議ISTS

- International Symposium on Technology for Sustainability
- 学生が発表する国際会議
- 学生の交通費は高専機構が支給
- 英語による口頭発表
- 東南アジアにて実施
 - ISTS 2012 in Bangkok: 2名参加 (採択率約80%)
 - ISTS 2013 in Hong Kong: 3名参加
 - ISTS 2014 in Taipei: 2名参加 (採択率約50%)



4-3 学生の海外渡航：国際会議ISTS



バンケット



発表



平成26年度 外部評価委員会報告書

編集 久留米工業高等専門学校

発行 久留米工業高等専門学校
平成27年3月発行

〒830-8555 久留米市小森野一丁目1番1号

TEL 0942-35-9300

URL <http://www.kurume-nct.ac.jp/>

